

目次

★ 発生動向総覧	P1~3
★ 感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況	P4
★ 指定届出機関からの特記事項欄コメント	P4~5
★ 全数把握感染症集計表	P6
★ 定点把握感染症集計表	P7~11
★ 定点把握感染症推移グラフ	P12~16
★ 定点把握感染症集計表(月報)	P17~20
★ 定点把握感染症推移グラフ(月報)	P21~22
★ インフルエンザの流行状況、注意喚起	P23~26
★ 新型コロナウイルス感染症の状況	P29~

インフルエンザが再び注意報レベルとなっています！ (2024年第10週(3/4～3/11)～)



発生動向総覧

◆全数届出の感染症

- 1類感染症 報告なし
- 2類感染症 結核(東部(2)、富士(1)、静岡市(1)、西部(1)、浜松市(1))
- 3類感染症 報告なし
- 4類感染症 報告なし
- 5類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症(中部(1))、梅毒(浜松市(2))、バンコマイシン耐性腸球菌感染症(東部(1))

◆定点把握の対象となる5類感染症(週報対象のもの)

環境衛生科学研究所

感染症情報センター

感染症発生動向調査

令和6年第12週(3/18～3/24)の動向

警報・注意報・流行期入りの目安

警報・注意報のねらいは、感染症発生動向調査における定点把握感染症のうち、公衆衛生上その流行現象の早期把握が必要な疾病について、流行の原因究明や拡大阻止対策などを講ずるための資料として、都道府県衛生主幹部局や保健所など第一線の衛生行政機関の専門家に向け、データの何らかの流行現象がみられることを、一定の科学的根拠に基づいて迅速に注意喚起することにあります。

ほとんどの感染症では、時間の経過とともに流行が地域的に拡大あるいは移動していくことから、流行拡大を早期に探知するためには、小区域での流行状況を広域的に監視することが重要と考えられます。

「警報レベル」は、大きな流行が発生または継続しつづくと疑われることを示します。

「注意報レベル」は、流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

「警報レベル」は、1週間の定点当たり報告数がある基準値(開始基準値)以上で開始し、別の基準値(終息基準値)未達で終息します。

「注意報レベル」は1週間の定点当たり報告数がある基準値以上の場合です。警報・注意報レベルの基準値は、これまでの感染症発生動向調査データから、下記の通り定められています。

インフルエンザには、「流行期入りの目安」として、「1」があります。

1週間の定点医療機関あたり報告数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられます。ただし、あくまでも目安であり、1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

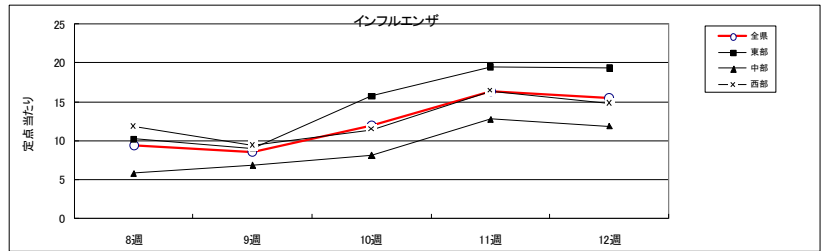
疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—
感染性胃腸炎	20.0	12.0	—
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	—
伝染性紅斑	2.0	1.0	—
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

【今週のコメント】

第12週(3/18～3/24)の感染症発生動向調査では、静岡県内のインフルエンザの定点当たり報告数が15.54人となり、前週の16.4人から減少しました。第10週(3/4～3/10)から再び注意報基準値の10人を越え、注意報レベルの状況が続いています。

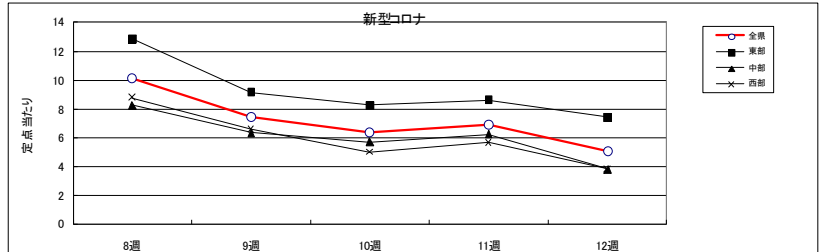
【インフルエンザ】

全県で罹患数2,160、定点当たり15.54の患者発生があり、前週の16.4から減少した。定点当たりは、東部地区で19.36、中部地区で11.83、西部地区で14.79の発生があった。



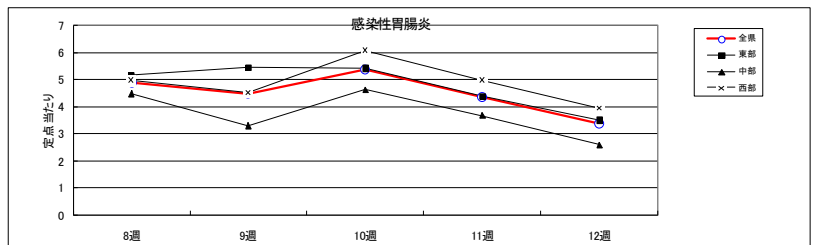
【新型コロナ】

全県で罹患数708、定点当たり5.09の患者発生があり、前週の6.88から減少した。定点当たり東部地区で7.4、中部地区で3.81、西部地区で3.79の患者が発生した。



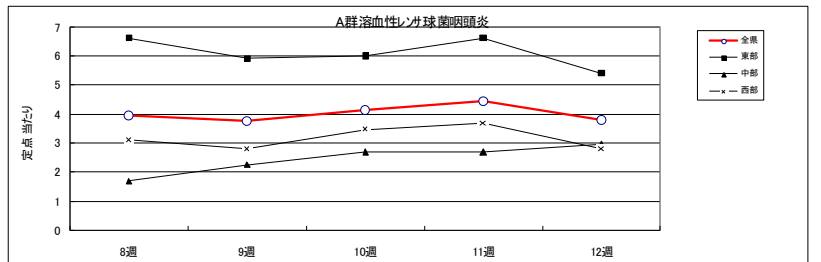
【感染性胃腸炎】

全県で罹患数300、定点当たり3.37の患者発生があり、前週の4.36から減少した。定点当たり東部地区で3.5、中部地区で2.59、西部地区で3.93の患者が発生した。



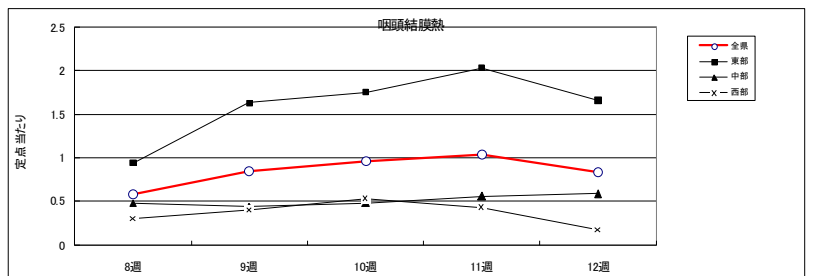
【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

全県で罹患数337、定点当たり3.79の患者発生があり、前週の4.44から減少した。定点当たり東部地区で5.41、中部地区で2.96、西部地区で2.8の患者が発生した。



【咽頭結膜熱】

全県で罹患数74、定点当たり0.83の患者発生があり、前週の1.04から減少した。定点当たり東部地区で1.66、中部地区で0.59、西部地区で0.17の患者が発生した。

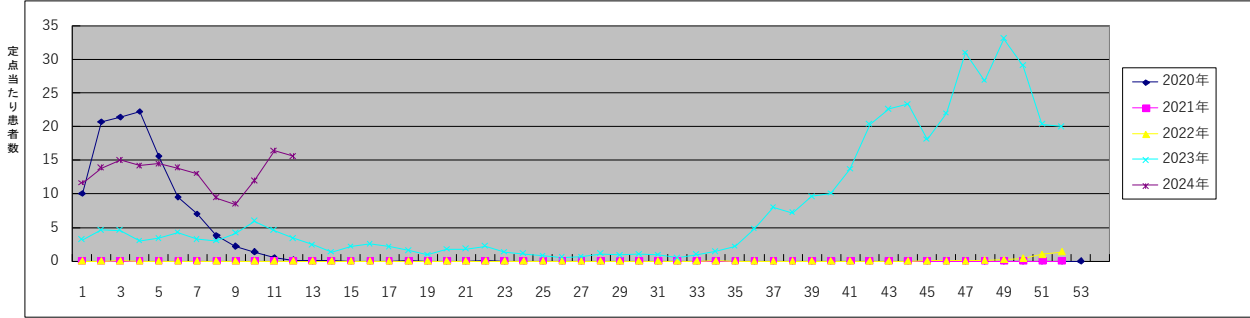


・麻疹、風疹は患者発生なし。

・全国のインフルエンザの発生は14.08で前週の17.26から減少した。警報レベルの保健所を有する都道府県は42から41に減少し、注意報レベルの保健所を有する都道府県は42から39に減少した。

・静岡県において第12週に定点当たり患者報告数の多かった疾病は、順に1) インフルエンザ (15.54)、2) 新型コロナ (5.09)、3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (3.79)、4) 感染性胃腸炎 (3.37)、5) 咽頭結膜熱 (0.83)、6) RSウイルス感染症、突発性発疹(0.25)であった。

【インフルエンザ罹患数推移】

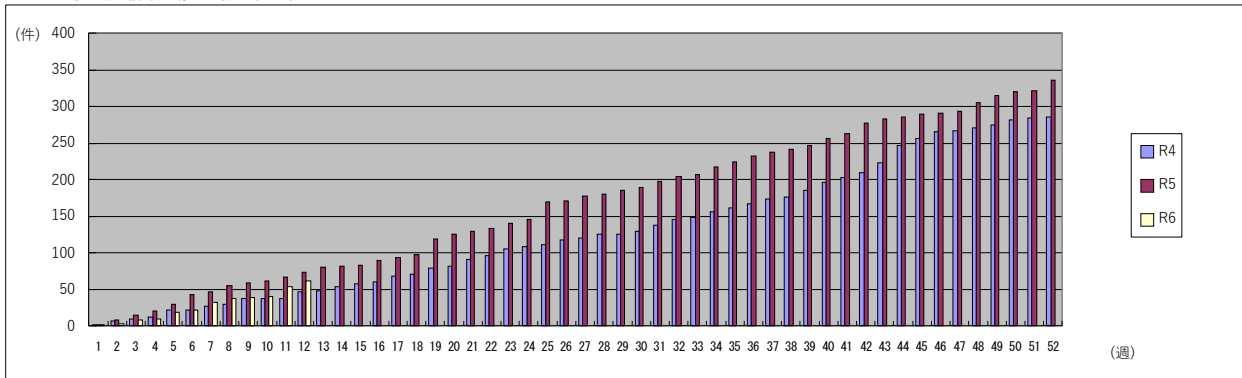


【県内衛生研究所におけるインフルエンザウイルス検出状況(2023/2024シーズン)】 (令和5年第40週～)

週	型	A/H1	A/H3	B/山形	B/Victoria
		pdm09		系統	系統
R5年 第40週～第45週	静岡県	21	36		
	静岡市	5	8		
	浜松市	1	10		
R5年 第46週～第50週	静岡県	9	22		1
	静岡市	1	7		
	浜松市	10	28		5
R5年 第51週～第52週	静岡県	4	12		1
	静岡市	2	2		1
	浜松市	2	13		1
R6年 第1週～第5週	静岡県	14	14		4
	静岡市	11	14		5
	浜松市	7	15		2
R6年 第6週～第10週	静岡県	5	4		12
	静岡市	1	1		16
	浜松市	2	4		18
R6年 第11週	静岡県				4
	静岡市				6
	浜松市				1
R6年 第12週	静岡県				3
	静岡市				6
	浜松市				
合 計		95	190	0	86

【梅毒の発生状況(静岡県・累計)】

・第12週は前年同期比0.8倍であった。



感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況

警 報 インフルエンザ(御殿場、西部)

咽頭結膜熱(東部、御殿場)

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(御殿場)

注意報 インフルエンザ(賀茂、熱海、東部、富士、中部、浜松市)



指定届出機関からの特記事項欄コメント

下田メディカルセンター(下田市)「インフルエンザA型3名、B型16名(A型B型両方1名)」

かわづクリニック(河津町)「インフルエンザB型19名」

よぞ小児科医院(沼津市)「インフルエンザB型12名、新型コロナ2名、咽頭結膜熱3名、アデノ咽頭1名」

光ヶ丘小児科(三島市)「インフルエンザA型13名、インフルエンザB型41名、新型コロナ9名、RS1名、咽頭アデノ11名」

クボタ小児科(三島市)「インフルエンザA型1名、インフルエンザB型6名」

白十字小児科医院(沼津市)「インフルエンザB型57名」

函南平出クリニック(函南町)「新型コロナ8名、インフルエンザA型4名、インフルエンザB型88名、RS4名、咽頭アデノ2名、ノロ1名、感染性胃腸炎2名、溶連菌感染症15名、突発性発疹1名」

なかがわ医院(小山町)「インフルエンザA型1名、インフルエンザB型14名」

安田内科小児科医院(御殿場市)「インフルエンザA型7名、インフルエンザB型87名、新型コロナ35名」

富士病院(御殿場市)「インフルエンザA型2名、インフルエンザB型44名」

たうち小児科医院(御殿場市)「インフルエンザA型10名、インフルエンザB型87名、新型コロナ16名、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎77名、ヒトメタニューモ8名」

お八幡医院(御殿場市)「インフルエンザA型1名、インフルエンザB型21名」

小川小児科内科医院(富士市)「インフルエンザA型1名、インフルエンザB型54名、新型コロナ20名」

共立蒲原総合病院・内科(富士市)「インフルエンザ13名、新型コロナ11名」

共立蒲原総合病院・小児科(富士市)「インフルエンザ12名、新型コロナ1名」

幸治小児科医院(富士市)「インフルエンザ9名、新型コロナ6名」

聖隷富士病院(富士市)「インフルエンザB型2名、新型コロナ13名」

瀬尾小児科内科医院(富士市)「インフルエンザ20名、新型コロナ19名」

田子浦クリニック(富士市)「インフルエンザ28名、新型コロナ20名」

谷口小児科医院(富士宮市)「インフルエンザ21名、新型コロナ7名」

永松医院(富士宮市)「インフルエンザB型2名、新型コロナ2名」

南陽堂内科循環器科クリニック(富士宮市)「インフルエンザ1名、新型コロナ4名」

平野医院(富士市)「インフルエンザ2名、新型コロナ3名」

富士市立中央病院(富士市)「インフルエンザ2名、新型コロナ18名」

富士宮市立病院(富士宮市)「インフルエンザ 1名」
 三浦医院(富士宮市)「インフルエンザ 30名、新型コロナ 2名」
 水野医院(島田市)「インフルエンザB型2名 3月18日～20日休診」
 伊藤医院(湖西市)「インフルエンザB型 10名」
 ふたばクリニック(磐田市)「インフルエンザB型 10名」
 きもと小児科(湖西市)「インフルエンザB型 37名」
 浜松医療センター(浜松市)「ヒトメタニューモ 1名、マイコプラズマ 1名」
 クリニックパパ(浜松市)「ヒトメタニューモ 6名、インフルエンザB型 29名」
 げんきこどもクリニック(浜松市)「インフルエンザA型 1名、インフルエンザB型 42名」
 いぬかい小児科(浜松市)「インフルエンザB型 16名」
 幸田子供クリニック(浜松市)「ヒトメタニューモ 1名、インフルエンザB型 17名」
 天童こども医院(浜松市)「咽頭アデノ 1名、インフルエンザB型 49名」
 小児科竹内医院(浜松市)「インフルエンザB型 18名」
 縣医院(浜松市)「インフルエンザB型 10名」
 おおば小児科(浜松市)「インフルエンザA型 6名、インフルエンザB型 31名」
 くまがいクリニック(浜松市)「インフルエンザB型 9名」
 大竹内科医院(浜松市)「インフルエンザA型 4名、インフルエンザB型 25名」
 みかえ内科クリニック(浜松市)「インフルエンザB型 1名」

※特記事項欄コメントによるインフルエンザ型別状況（2023-2024 シーズン）

週	インフルエンザA型		インフルエンザB型	
	報告数	割合	報告数	割合
第1週	429名	91.1%	42名	8.9%
第2週	614名	86.6%	95名	13.4%
第3週	714名	83.4%	142名	16.6%
第4週	569名	71.9%	222名	28.1%
第5週	435名	50.1%	434名	49.9%
第6週	273名	33.7%	538名	66.3%
第7週	135名	17.7%	626名	82.3%
第8週	82名	14.0%	502名	86.0%
第9週	60名	14.2%	362名	85.8%
第10週	64名	8.8%	661名	91.2%
第11週	73名	7.6%	888名	92.4%
第12週	54名	5.9%	856名	94.1%
シーズン総計	31,117名	84.0%	5,907名	16.0%

全数把握感染症集計表

2024年 12 週

疾患名	区分	静岡県							全国				
		7週	8週	9週	10週	11週	今週	年累計	9週	10週	11週	今週	年累計
エボラ出血熱													
クリミア・コンゴ出血熱													
痘そう													
南米出血熱													
ペスト													
マールブルグ病													
ラッサ熱													
急性灰白髄炎													
結核		7	5	3		2	7	98	258	227	199	223	3,041
ジフテリア													
重症急性呼吸器症候群(SARS)													
中東呼吸器症候群(MERS)													
鳥インフルエンザH5N1													
鳥インフルエンザH7N9													
コレラ													
細菌性赤痢									1		2	1	11
腸管出血性大腸菌感染症								4	26	21	26	22	276
腸チフス									2		1		4
パラチフス													1
E型肝炎								1	12	9	4	8	123
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)													
A型肝炎									2	3	1	3	21
エキノコックス症										1	1		2
エムボックス									1				9
賞熱													
オウム病													
オムスク出血熱													
回帰熱													1
キャサスル森林病													
Q熱													6
狂犬病													
コクシジオイデス症													
ジカウイルス感染症													
重症熱性血小板減少症候群									1	1	1	1	8
腎臓慢性出血熱													
西部ウマ脳炎													
ダニ媒介脳炎													
炭疽													
チクングニア熱													
つつが虫病								1		3		1	58
デング熱									1	2	7	5	37
東部ウマ脳炎													
鳥インフルエンザ													
ニバウイルス感染症													
日本紅斑熱									1				3
日本脳炎													1
ハンタウイルス肺症候群													
Bウイルス病													
鼻疽													
ブルセラ症													
ベネズエラウマ脳炎													
ヘンドラウイルス感染症													
発しんチフス													
ポツリヌス症													
マラリア												1	5
野兔病													
ライム病													
リッサウイルス感染症													
リフトバレー熱													
類鼻疽													
レジオネラ症					1			11	25	34	20	27	383
レプトスピラ症													1
ロッキー山紅斑熱													
アメーバ赤痢								3	7	7	6	3	118
ウイルス性肝炎(A型肝炎及びE型肝炎を除く)									2	3	4	5	38
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症								1	27	21	27	19	400
急性弛緩性麻痺													6
急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎等を除く)	1	3						9	10	8	6	5	156
クリプトスポリジウム症										2		1	6
クロイツフェルト・ヤコブ病									4	4	2	2	41
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	1			1			10	33	36	32	25	556
後天性免疫不全症候群	1	1	1					10	11	9	15	4	215
ジアルジア症										1	1	2	8
侵襲性インフルエンザ菌感染症			1					1	11	9	6	4	144
侵襲性髄膜炎菌感染症									2	2			9
侵襲性肺炎球菌感染症	1						1	18	26	21	32	42	623
水痘(入院例に限る)								4	13	12	7	2	93
先天性風しん症候群													
梅毒	6	5	2	1	6		2	61	201	191	181	130	2,814
播種性クリプトコックス症									3	4	6	4	47
破傷風	1							1	1	2	1	1	17
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症													
バンコマイシン耐性腸球菌感染症							1	6	3	3	1	2	30
百日咳								1	12	10	6	4	125
風しん												1	1
麻疹										8	9	1	21
薬剤耐性アシネトバクター感染症													
新型インフルエンザ等感染症													

※次週以降に届出の追加や取り下げがあった場合、この表では、前週以前の届出数に反映されません。「今週」と「年累計」は、現時点での正しい届出数です。前週以前の届出数はその後、増減している可能性があります。

※令和5年5月26日から「サル痘」は「エムボックス」に、「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」は「カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症」に名称が変わりました。

定点把握感染症集計表(届出数)

2024年 12 週

	静岡県							全国				
	7週	8週	9週	10週	11週	今週	計	9週	10週	11週	今週	計
RSウイルス感染症	4	5	11	15	19	22	76	904	1,171	1,491	1,812	5,378
咽頭結膜熱	76	52	76	85	93	74	456	2,994	2,747	2,593	2,199	10,533
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	260	351	334	369	395	337	2,046	12,192	13,808	14,055	11,523	51,578
感染性胃腸炎	453	435	398	480	388	300	2,454	17,166	17,577	16,677	13,441	64,861
水痘	7	11	5	9	22	8	62	404	428	433	409	1,674
手足口病	4	3	3	9	4	3	26	683	545	652	522	2,402
伝染性紅斑	1	2	3	4	1	1	12	60	68	63	53	244
突発性発しん	17	12	24	22	21	22	118	659	634	702	657	2,652
ヘルパンギーナ	1			1	1	1	4	103	80	63	70	316
流行性耳下腺炎	4	7	4	5	5	3	28	85	78	79	80	322
インフルエンザ	1,802	1,307	1,177	1,663	2,280	2,160	10,389	68,883	79,643	85,162	69,510	303,198
新型コロナウイルス感染症	1,770	1,402	1,032	885	957	708	6,754	34,488	32,236	30,316	25,727	122,767
急性出血性結膜炎								9	12	6	12	39
流行性角結膜炎	2	4	6	4	2	3	21	313	297	265	286	1,161
細菌性髄膜炎		1					1	5	9	13	10	37
無菌性髄膜炎				2			2	6	11	15	13	45
マイコプラズマ肺炎	4			3		2	9	38	56	50	40	184
クラミジア肺炎(オウム病は除く)										1	3	4
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)								4	6	7	12	29

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねている。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

定点把握感染症集計表(定点当り)

2024年 12 週

	静岡県						全国			
	第7週	第8週	第9週	第10週	第11週	今週	第9週	第10週	第11週	今週
RSウイルス感染症	0.04	0.06	0.12	0.17	0.21	0.25	0.29	0.37	0.48	0.58
咽頭結膜熱	0.85	0.58	0.85	0.96	1.04	0.83	0.96	0.88	0.83	0.70
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.92	3.94	3.75	4.15	4.44	3.79	3.89	4.41	4.48	3.67
感染性胃腸炎	5.09	4.89	4.47	5.39	4.36	3.37	5.48	5.61	5.32	4.28
水痘	0.08	0.12	0.06	0.10	0.25	0.09	0.13	0.14	0.14	0.13
手足口病	0.04	0.03	0.03	0.10	0.04	0.03	0.22	0.17	0.21	0.17
伝染性紅斑	0.01	0.02	0.00	0.04	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02
突発性発しん	0.19	0.13	0.27	0.25	0.24	0.25	0.21	0.20	0.22	0.21
ヘルパンギーナ	0.01			0.01	0.01	0.01	0.03	0.03	0.02	0.02
流行性耳下腺炎	0.04	0.08	0.04	0.06	0.06	0.03	0.03	0.02	0.03	0.03
インフルエンザ	12.96	9.40	8.47	11.96	16.40	15.54	13.96	16.14	17.26	14.08
新型コロナウイルス感染症	12.73	10.09	7.42	6.37	6.88	5.09	6.99	6.53	6.15	5.21
急性出血性結膜炎							0.01	0.02	0.01	0.02
流行性角結膜炎	0.09	0.18	0.27	0.18	0.09	0.14	0.45	0.43	0.38	0.41
細菌性髄膜炎		0.10					0.01	0.02	0.03	0.02
無菌性髄膜炎				0.20			0.01	0.02	0.03	0.03
マイコプラズマ肺炎	0.40			0.30		0.20	0.08	0.12	0.10	0.08
クラミジア肺炎(オウム病は除く)							-	-	0.00	0.01
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)							0.01	0.01	0.01	0.02

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねている。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

感染症 12 週

保健所名	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	22	0.25	74	0.83	337	3.79	300	3.37	8	0.09
賀茂							7	3.50		
熱海			1	0.25	5	1.25	16	4.00		
東部	5	0.38	33	2.54	44	3.38	33	2.54		
御殿場	2	0.50	12	3.00	111	27.75	31	7.75	3	0.75
富士			7	0.78	13	1.44	25	2.78		
静岡市	7	0.44	13	0.81	48	3.00	45	2.81		
中部			3	0.27	32	2.91	25	2.27	3	0.27
西部	3	0.25	1	0.08	35	2.92	58	4.83	1	0.08
浜松市	5	0.28	4	0.22	49	2.72	60	3.33	1	0.06

保健所名	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	定点当り	罹患数	定点当り
総数	3	0.03	1	0.01	22	0.25	1	0.01	3	0.03
賀茂										
熱海							1	0.25	1	0.25
東部			1	0.08	3	0.23				
御殿場					1	0.25				
富士					3	0.33			1	0.11
静岡市					1	0.06				
中部					1	0.09				
西部	1	0.08			5	0.42				
浜松市	2	0.11			8	0.44			1	0.06

保健所名	インフルエンザ		新型コロナウイルス感染症		麻しん (全数報告)		風しん (全数報告)		指定届出機関 (定点)数	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	累計	週計	累計	小児科	内科
総数	2160	15.54	708	5.09	0	0	0	0	89	50
賀茂	37	12.33	17	5.67					2	1
熱海	98	16.33	56	9.33					4	2
東部	354	17.70	86	4.30					13	7
御殿場	281	46.83	85	14.17					4	2
富士	198	13.20	126	8.40					9	6
静岡市	235	9.40	99	3.96					16	9
中部	262	15.41	61	3.59					11	6
西部	277	14.58	92	4.84					12	7
浜松市	418	14.93	86	3.07					18	10

*新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類(定点把握対象)に追加されました。

感染症 12 週

保健所名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		3	0.14	0		0		2	0.20
賀茂										
熱海										
東部			1	0.25						
御殿場										
富士			2	0.67						
静岡市										
中部										
西部									1	1.00
浜松市									1	0.50

保健所名	クラミジア肺炎(オウム病は除く)		感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		0	
賀茂				
熱海				
東部				
御殿場				
富士				
静岡市				
中部				
西部				
浜松市				

指定届出機関 (定点)数	
眼科	基幹
22	10
	1
	1
4	1
3	1
5	2
3	1
4	1
3	2

*賀茂・熱海・御殿場の各保健所管内には眼科定点はありません。

*御殿場保健所管内には基幹定点はありません。

定点把握感染症年齢階級別集計表(届出数)

2024年 12 週

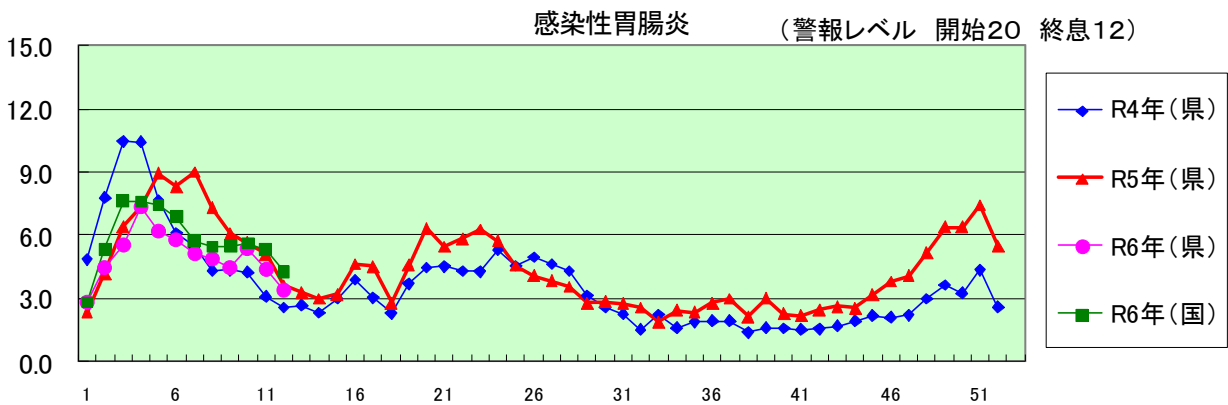
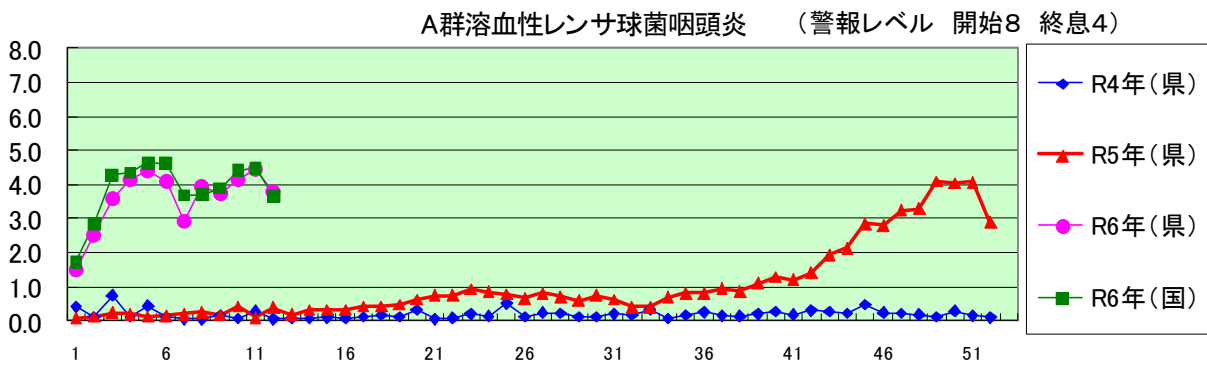
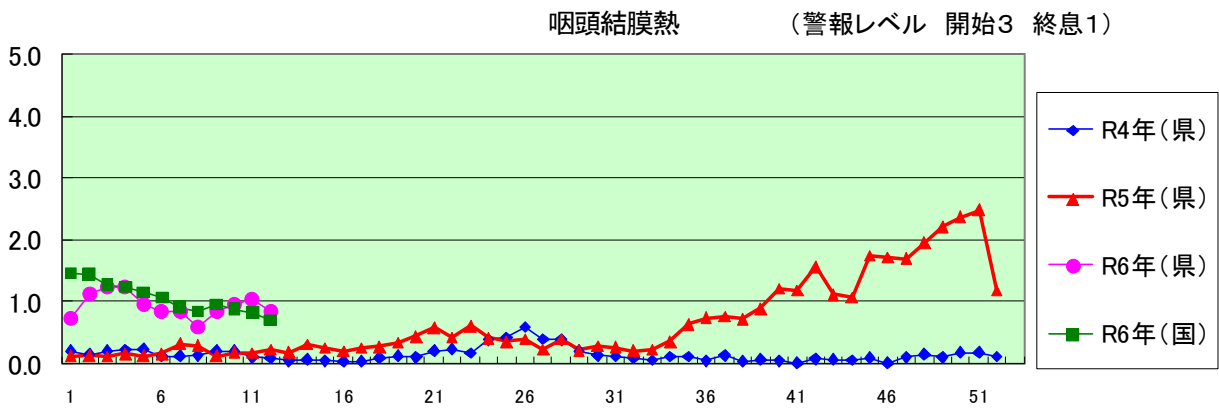
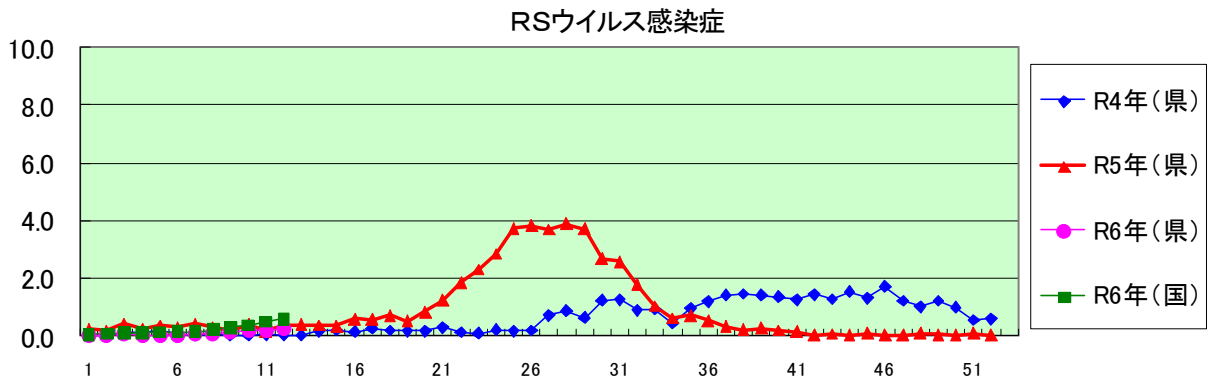
年齢階級区分	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計	
〃(小児科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上								
〃(眼科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上			
〃(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上						
RSウイルス感染症	2	7	7	6																	22	
咽頭結膜熱		6	7	4	11	8	15	8	5	4	2	4									74	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			6	16	30	43	46	47	42	30	26	37	3	11							337	
感染性胃腸炎	3	12	33	21	27	27	32	28	24	17	13	37	3	23							300	
水痘			1				1	1	1	2		1	1								8	
手足口病		2			1																3	
伝染性紅斑											1										1	
突発性発しん		5	11	3	2	1															22	
ヘルパンギーナ												1									1	
流行性耳下腺炎								1		1		1									3	
インフルエンザ	2	16	38	43	51	61	79	133	171	167	159	714	242	48	106	76	30	11	9	4	2,160	
新型コロナウイルス感染症	5	20	21	12	15	13	6	7	5	10	4	42	31	58	75	79	73	50	81	101	708	
急性出血性結膜炎																						
流行性角結膜炎															2	1					3	
細菌性髄膜炎																						
無菌性髄膜炎																						
マイコプラズマ肺炎		1								1											2	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																						
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																						

定点把握感染症年齢階級別集計表(定点当り)

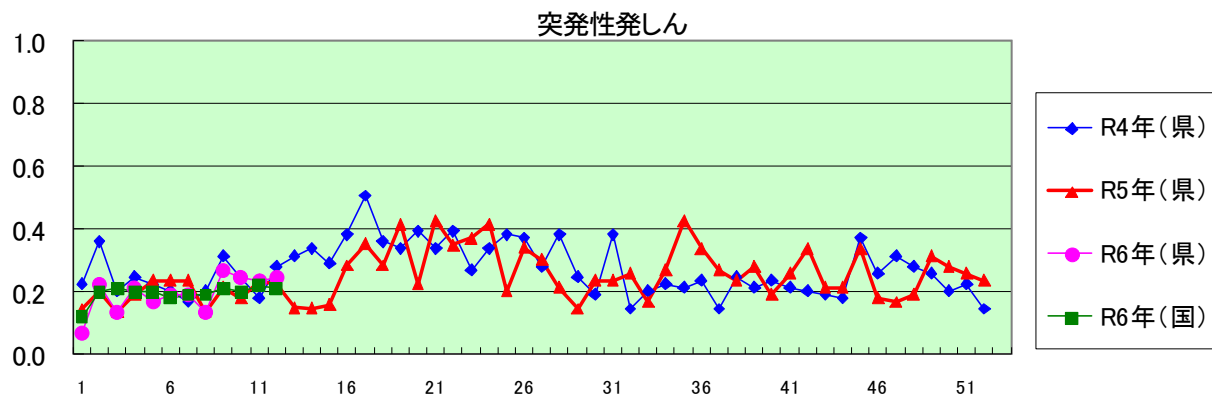
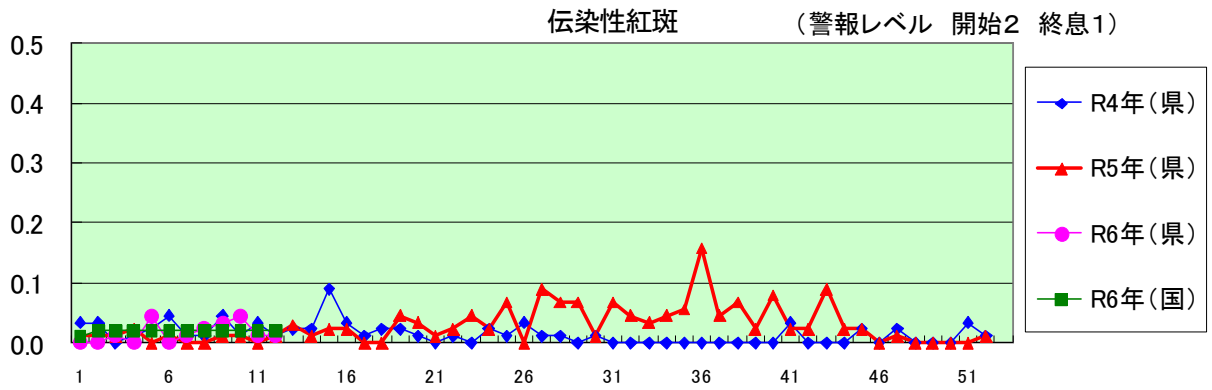
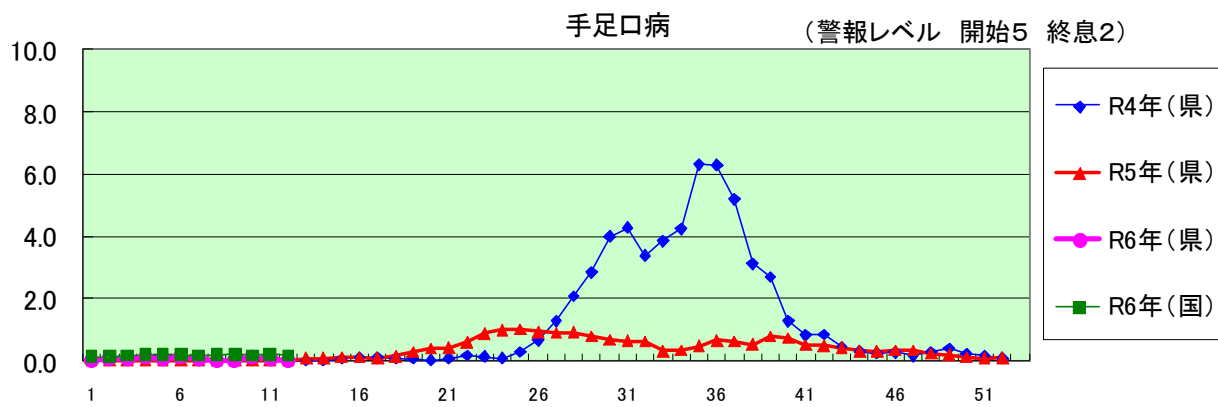
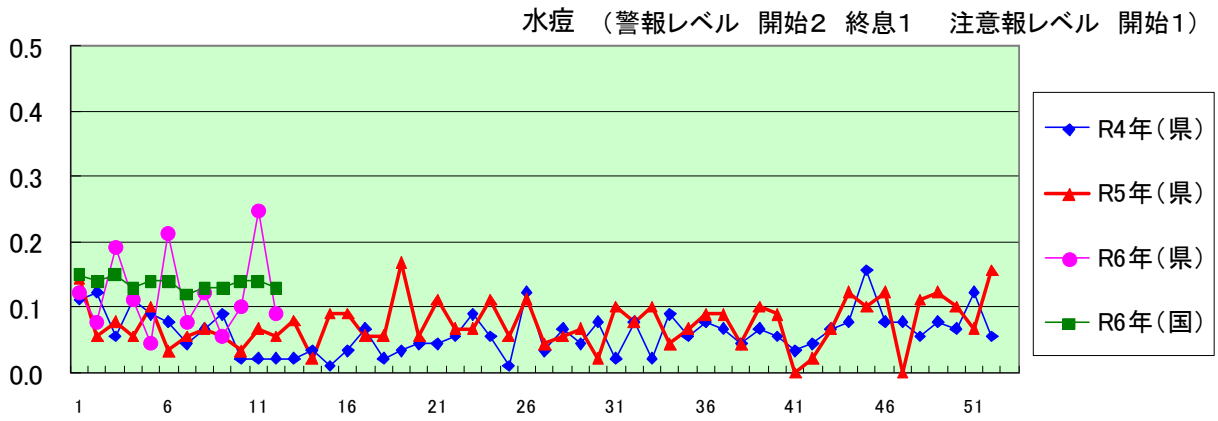
2024年 12 週

年齢階級区分	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計	
〃(小児科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上								
〃(眼科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上			
〃(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上						
RSウイルス感染症	0.02	0.08	0.08	0.07																	0.25	
咽頭結膜熱		0.07	0.08	0.04	0.12	0.09	0.17	0.09	0.06	0.04	0.02	0.04									0.83	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			0.07	0.18	0.34	0.48	0.52	0.53	0.47	0.34	0.29	0.42	0.03	0.12							3.79	
感染性胃腸炎	0.03	0.13	0.37	0.24	0.30	0.30	0.36	0.31	0.27	0.19	0.15	0.42	0.03	0.26							3.37	
水痘			0.01				0.01	0.01	0.01	0.02		0.01	0.01								0.09	
手足口病		0.02			0.01																0.03	
伝染性紅斑											0.01										0.01	
突発性発しん		0.06	0.12	0.03	0.02	0.01															0.25	
ヘルパンギーナ												0.01									0.01	
流行性耳下腺炎								0.01		0.01		0.01									0.03	
インフルエンザ	0.01	0.12	0.27	0.31	0.37	0.44	0.57	0.96	1.23	1.20	1.14	5.14	1.74	0.35	0.76	0.55	0.22	0.08	0.06	0.03	15.54	
新型コロナウイルス感染症	0.04	0.14	0.15	0.09	0.11	0.09	0.04	0.05	0.04	0.07	0.03	0.30	0.22	0.42	0.54	0.57	0.53	0.36	0.58	0.73	5.09	
急性出血性結膜炎																						
流行性角結膜炎															0.09	0.05					0.14	
細菌性髄膜炎																						
無菌性髄膜炎																						
マイコプラズマ肺炎		0.10								0.10											0.20	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																						
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																						

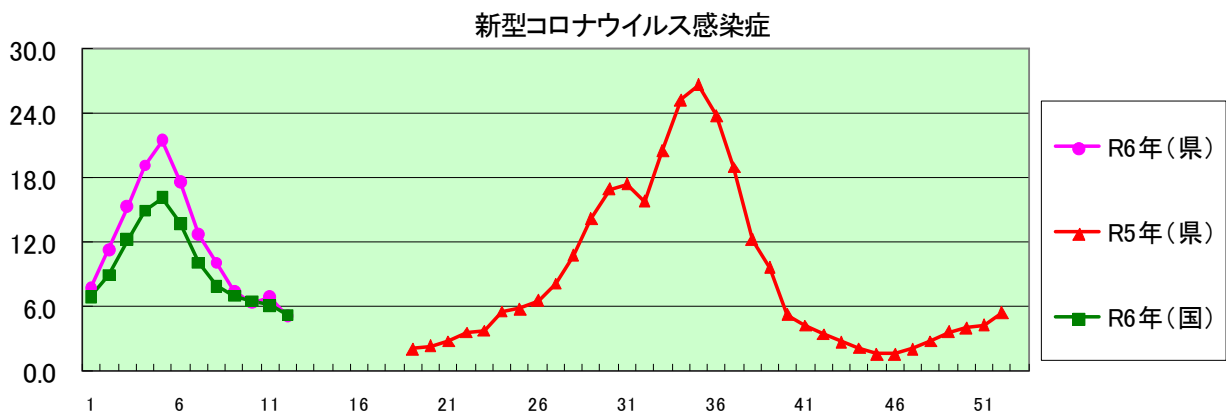
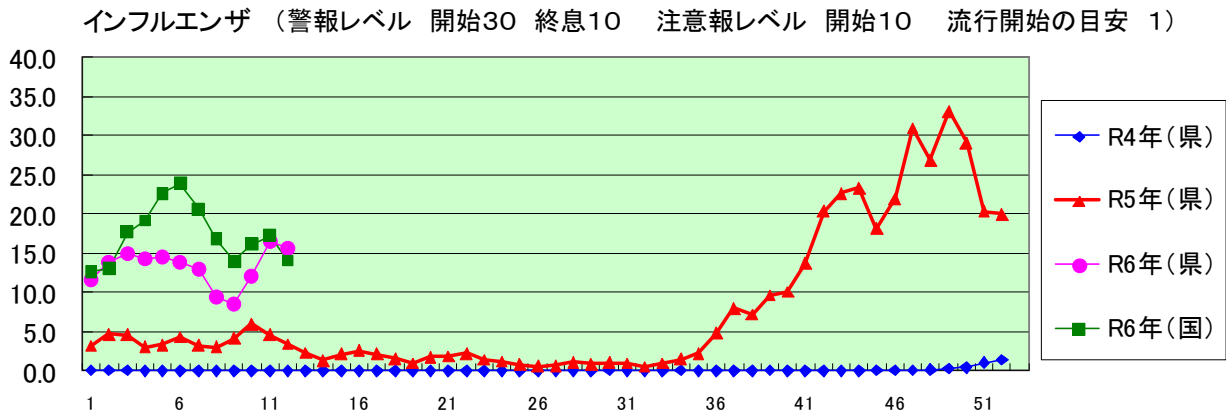
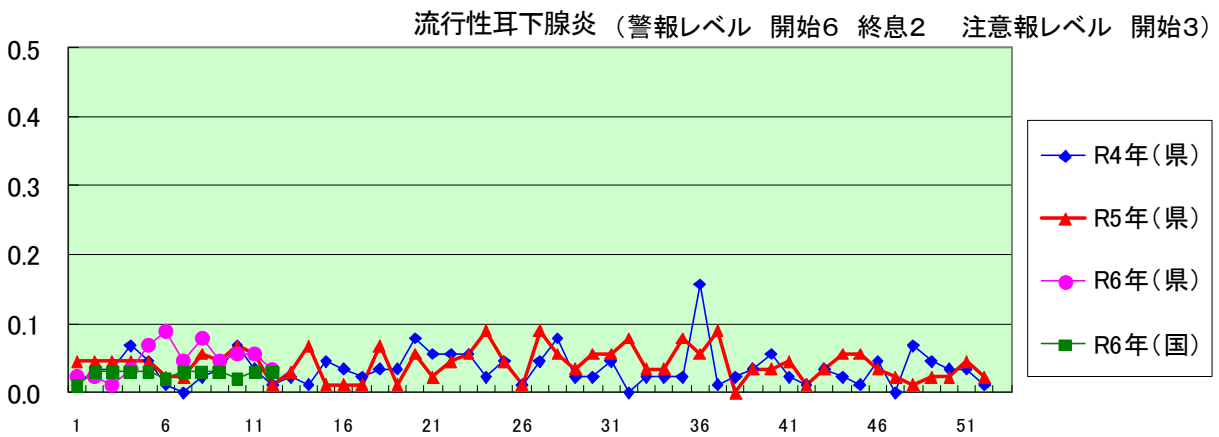
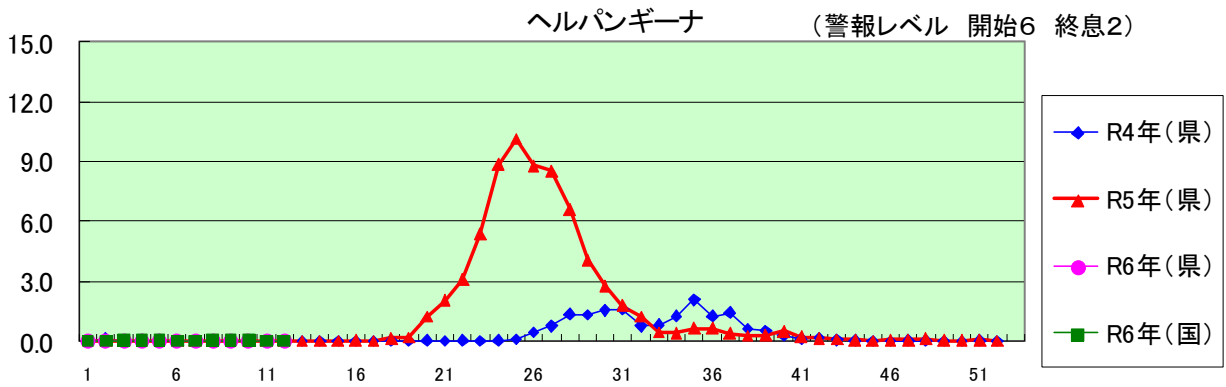
定点把握感染症推移



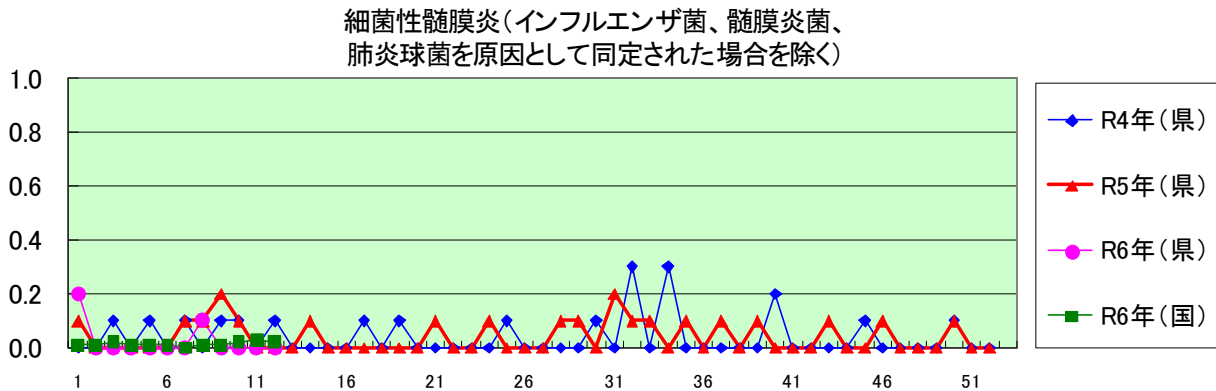
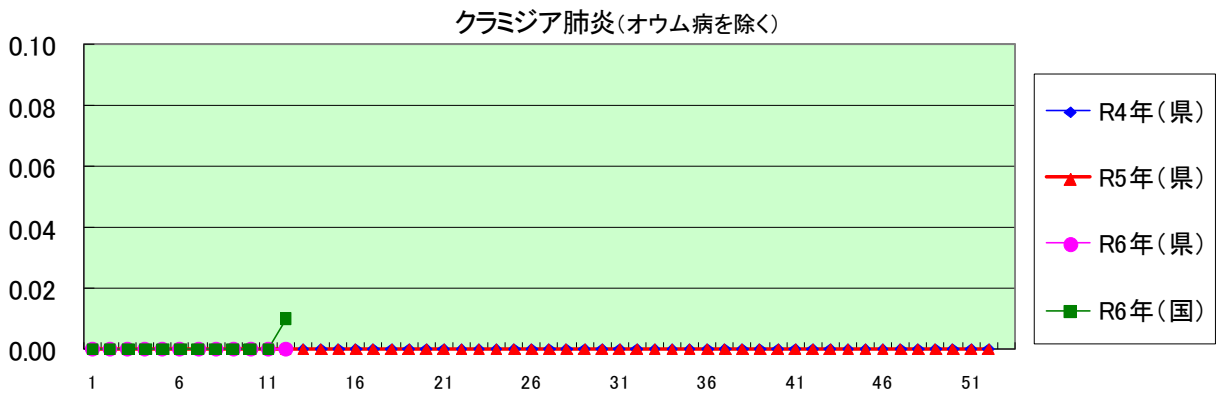
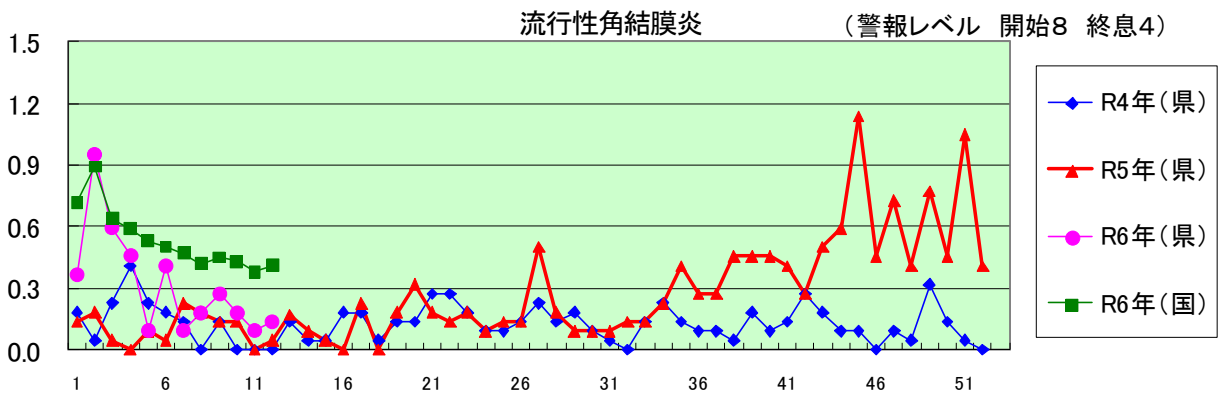
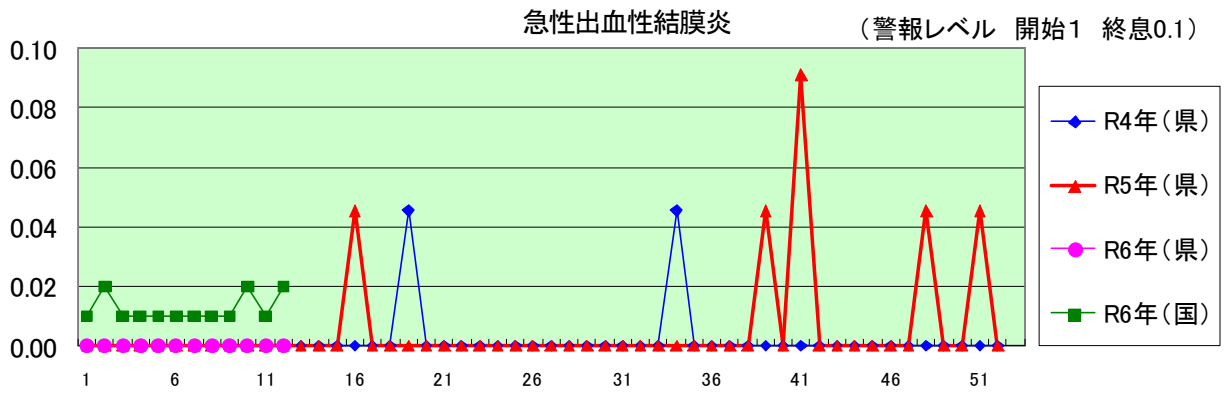
定点把握感染症推移



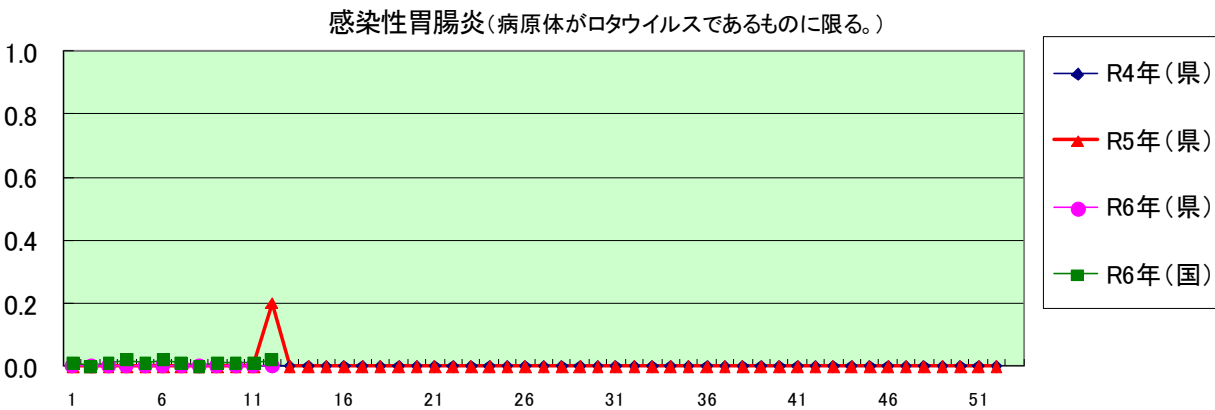
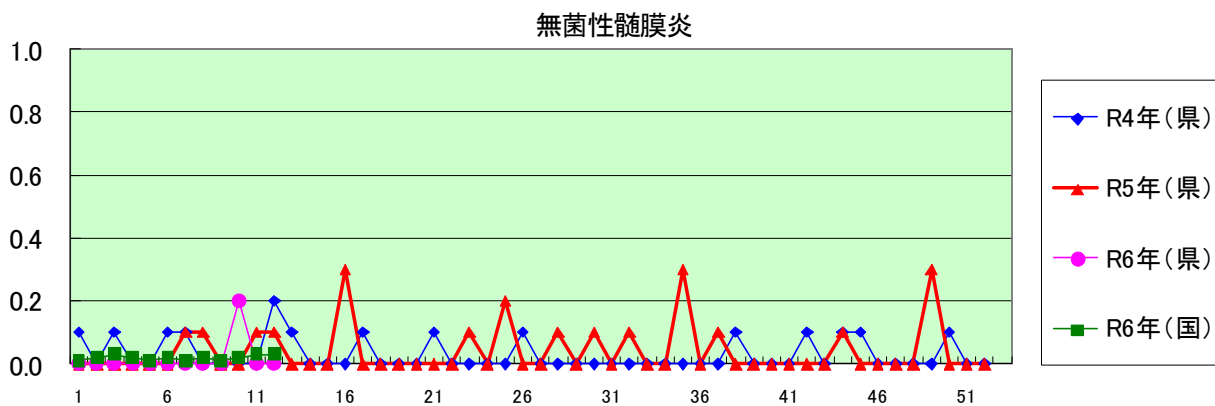
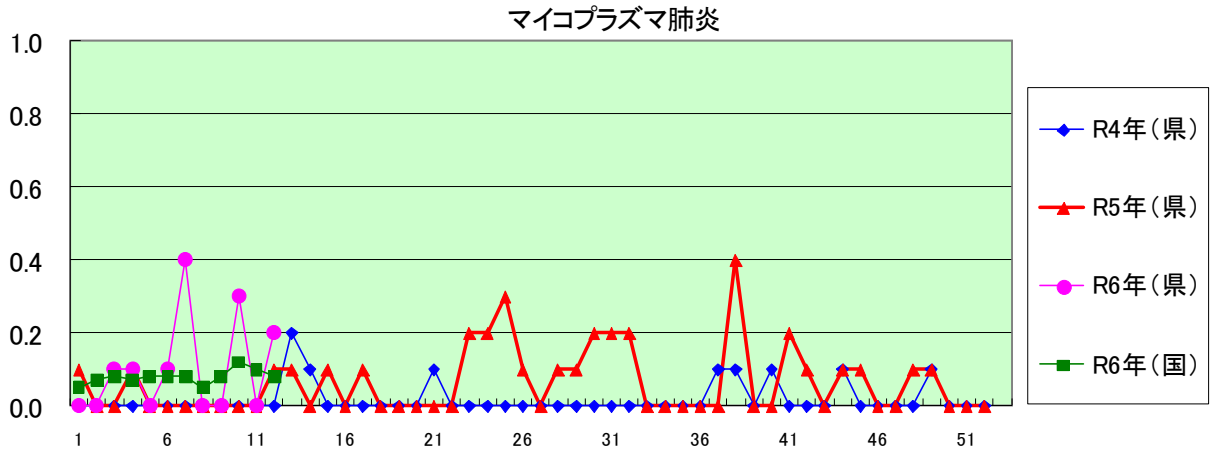
定点把握感染症推移



定点把握感染症推移



定点把握感染症推移



定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病を除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

定点把握感染症(月報)集計表(届出数)

2024年 2 月

	静岡県							全国				
	9月	10月	11月	12月	1月	今月	計	11月	12月	1月	今月	計
性器クラミジア感染症	72	66	61	53	61	56	369	2,437	2,462	2,508	2,346	9,753
性器ヘルペスウイルス感染症	18	14	23	18	19	16	108	791	798	814	743	3,146
尖圭コンジローマ	15	11	15	15	13	11	80	528	507	502	487	2,024
淋菌感染症	20	15	11	13	13	18	90	823	791	852	747	3,213
性器クラミジア感染症(男)	23	22	22	16	18	18	119	1,141	1,211	1,274	1,140	4,766
性器クラミジア感染症(女)	49	44	39	37	43	38	250	1,296	1,251	1,234	1,206	4,987
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	4	7	9	9	5	5	39	280	276	300	292	1,148
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	14	7	14	9	14	11	69	511	522	514	451	1,998
尖圭コンジローマ(男)	10	6	8	6	8	5	43	343	321	335	327	1,326
尖圭コンジローマ(女)	5	5	7	9	5	6	37	185	186	167	160	698
淋菌感染症(男)	12	6	7	9	9	8	51	591	604	670	537	2,402
淋菌感染症(女)	8	9	4	4	4	10	39	232	187	182	210	811
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	21	21	16	26	27	26	137	1,233	1,356	1,328	1,325	5,242
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症								74	88	80	74	316
薬剤耐性緑膿菌感染症								5	7	6	7	25

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖形コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

定点把握感染症(月報)集計表(定点当り)

2024年 2 月

	静岡県						全国			
	9月	10月	11月	12月	1月	今月	11月	12月	1月	今月
性器クラミジア感染症	2.40	2.20	2.03	1.77	2.03	1.87	2.59	2.51	2.57	2.40
性器ヘルペスウイルス感染症	0.60	0.47	0.77	0.60	0.63	0.53	0.81	0.81	0.83	0.76
尖圭コンジローマ	0.50	0.37	0.50	0.50	0.43	0.37	0.54	0.52	0.51	0.50
淋菌感染症	0.67	0.50	0.37	0.43	0.43	0.60	0.84	0.81	0.87	0.76
性器クラミジア感染症(男)	0.77	0.73	0.73	0.53	0.60	0.60	1.27	1.24	1.31	1.16
性器クラミジア感染症(女)	1.63	1.47	1.30	1.23	1.43	1.27	1.32	1.28	1.27	1.23
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	0.13	0.23	0.30	0.30	0.17	0.17	0.29	0.28	0.31	0.30
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	0.47	0.23	0.47	0.30	0.47	0.37	0.52	0.53	0.53	0.46
尖圭コンジローマ(男)	0.33	0.20	0.27	0.20	0.27	0.17	0.35	0.33	0.34	0.33
尖圭コンジローマ(女)	0.17	0.17	0.23	0.30	0.17	0.20	0.19	0.19	0.17	0.16
淋菌感染症(男)	0.40	0.20	0.23	0.37	0.30	0.27	0.60	0.62	0.69	0.55
淋菌感染症(女)	0.27	0.30	0.13	0.13	0.13	0.33	0.24	0.19	0.19	0.21
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2.10	2.10	1.60	2.60	2.70	2.60	2.58	2.84	2.78	2.77
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症							0.15	0.18	0.17	0.15
薬剤耐性緑膿菌感染症							0.01	0.01	0.01	0.01

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

2024年 2 月

保健所名	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	56	1.87	16	0.53	11	0.37	18	0.60
賀茂
熱海	2	2.00						
東部	1	0.20	1	0.20				
御殿場	5	5.00	2	2.00	1	1.00	1	1.00
富士	9	3.00	4	1.33	2	0.67	2	0.67
静岡市	16	2.67	4	0.67	3	0.50	6	1.00
中部	8	2.00	3	0.75			6	1.50
西部	9	1.80	1	0.20	1	0.20	1	0.20
浜松市	6	1.20	1	0.20	4	0.80	2	0.40

保健所名	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	26	2.60	0		0	
賀茂						
熱海	2	2.00				
東部	1	1.00				
御殿場
富士	2	2.00				
静岡市	16	8.00				
中部						
西部	1	1.00				
浜松市	4	2.00				

保健所名	定点(指定届出機関)数	
	性感染症	基幹
総数	30	10
賀茂		1
熱海	1	1
東部	5	1
御殿場	1	
富士	3	1
静岡市	6	2
中部	4	1
西部	5	1
浜松市	5	2

* 薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成26年9月19日から全数把握の対象となりました。

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(届出数)

2024年 2 月

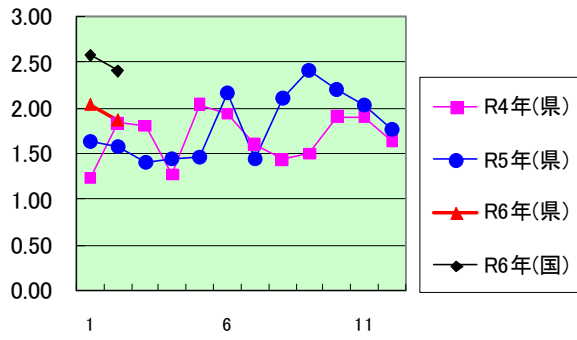
年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					5	24	13	9	2		1	1		1			56
性器ヘルペスウイルス感染症						2	4	1	4			3		1		1	16
尖圭コンジローマ						4	1	2	2			1		1			11
淋菌感染症					3	6	6	1			1	1					18
性器クラミジア感染症(男)						7	2	5	2		1			1			18
性器クラミジア感染症(女)					5	17	11	4				1					38
性器ヘルペスウイルス感染症(男)							1	1	1			1				1	5
性器ヘルペスウイルス感染症(女)						2	3		3			2		1			11
尖圭コンジローマ(男)							1		2			1		1			5
尖圭コンジローマ(女)						4		2									6
淋菌感染症(男)					3	2	1				1	1					8
淋菌感染症(女)						4	5	1									10
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症							1			1	1		2	1	2	18	26
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(定点当り)

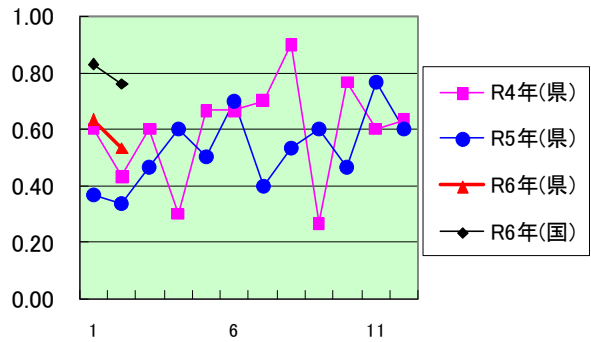
2024年 2 月

年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					0.17	0.80	0.43	0.30	0.07		0.03	0.03		0.03			1.87
性器ヘルペスウイルス感染症						0.07	0.13	0.03	0.13			0.10		0.03		0.03	0.53
尖圭コンジローマ						0.13	0.03	0.07	0.07			0.03		0.03			0.37
淋菌感染症					0.10	0.20	0.20	0.03			0.03	0.03					0.60
性器クラミジア感染症(男)						0.23	0.07	0.17	0.07		0.03			0.03			0.60
性器クラミジア感染症(女)					0.17	0.57	0.37	0.13				0.03					1.27
性器ヘルペスウイルス感染症(男)							0.03	0.03	0.03			0.03				0.03	0.17
性器ヘルペスウイルス感染症(女)						0.07	0.10		0.10			0.07		0.03			0.37
尖圭コンジローマ(男)							0.03		0.07			0.03		0.03			0.17
尖圭コンジローマ(女)						0.13		0.07									0.20
淋菌感染症(男)					0.10	0.07	0.03				0.03	0.03					0.27
淋菌感染症(女)						0.13	0.17	0.03									0.33
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症							0.10			0.10	0.10		0.20	0.10	0.20	1.80	2.60
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

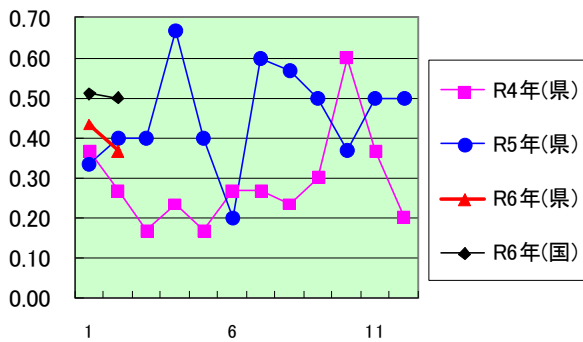
性器クラミジア感染症



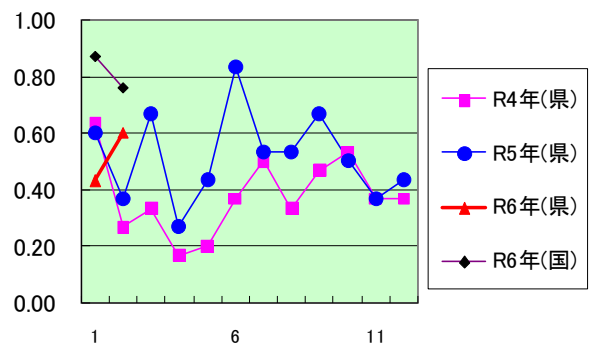
性器ヘルペスウイルス感染症



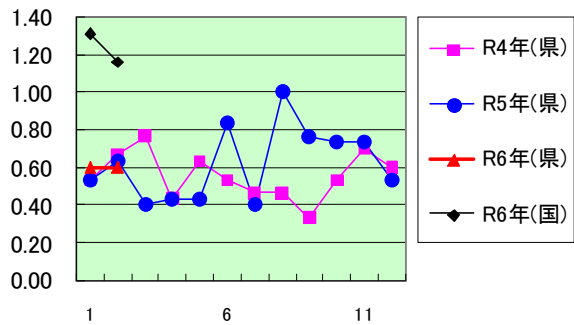
尖圭コンジローマ



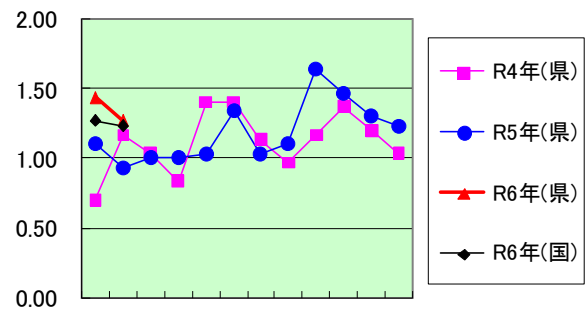
淋菌感染症



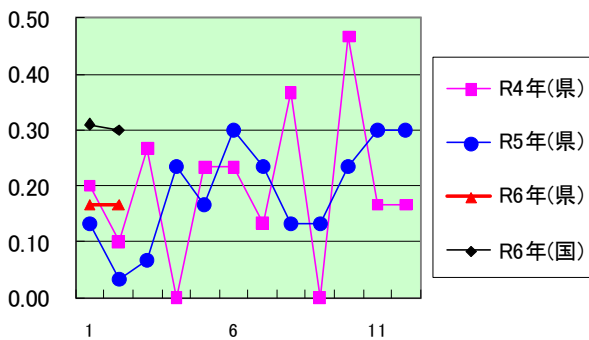
性器クラミジア感染症(男)



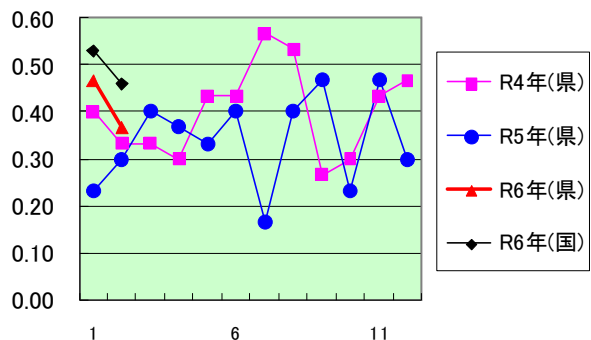
性器クラミジア感染症(女)



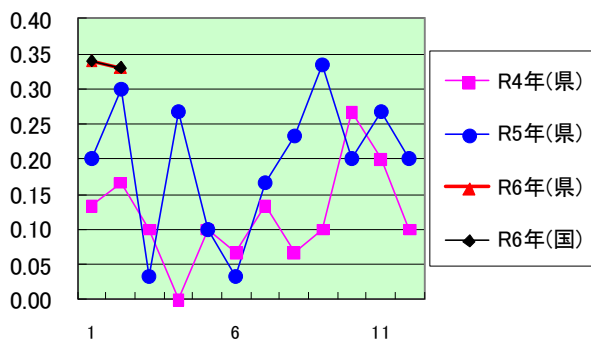
性器ヘルペスウイルス感染症(男)



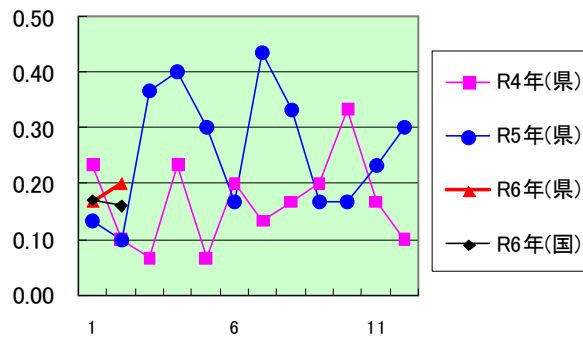
性器ヘルペスウイルス感染症(女)



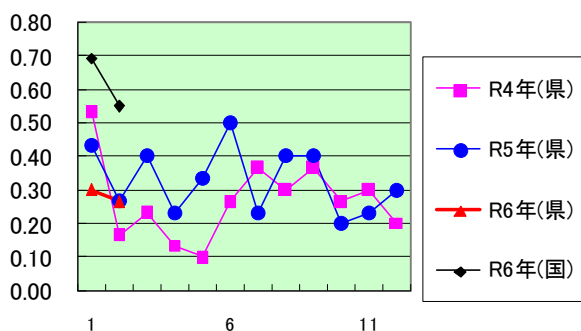
尖圭コンジローマ(男)



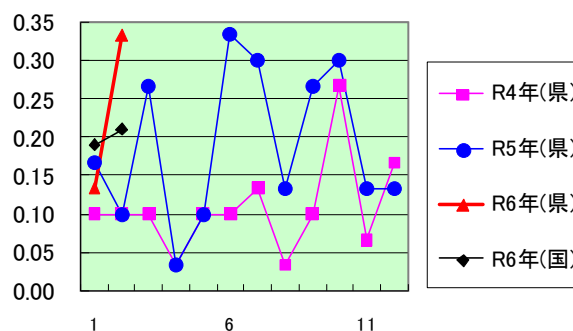
尖圭コンジローマ(女)



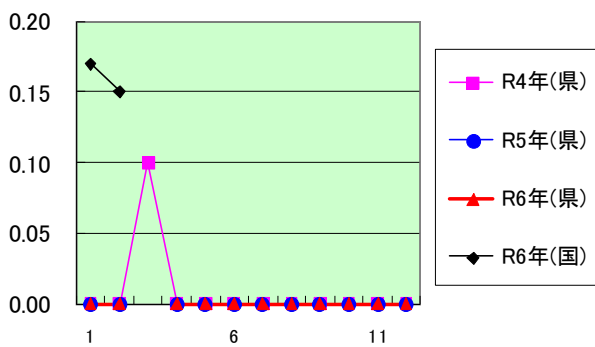
淋菌感染症(男)



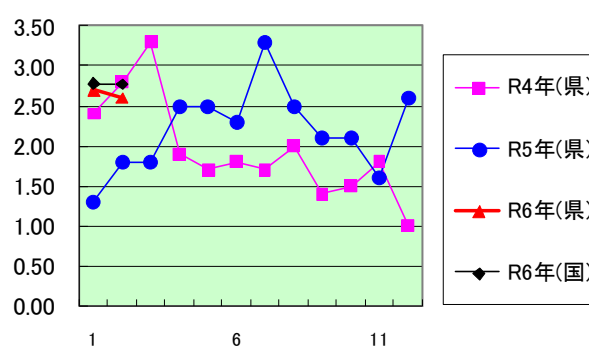
淋菌感染症(女)



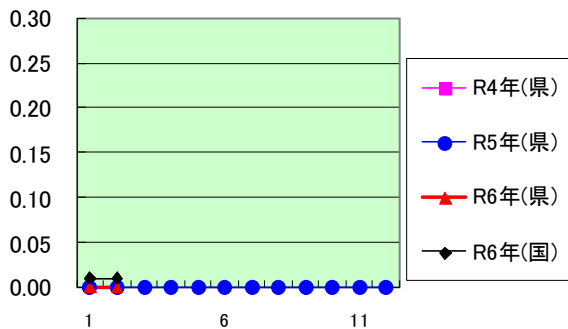
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

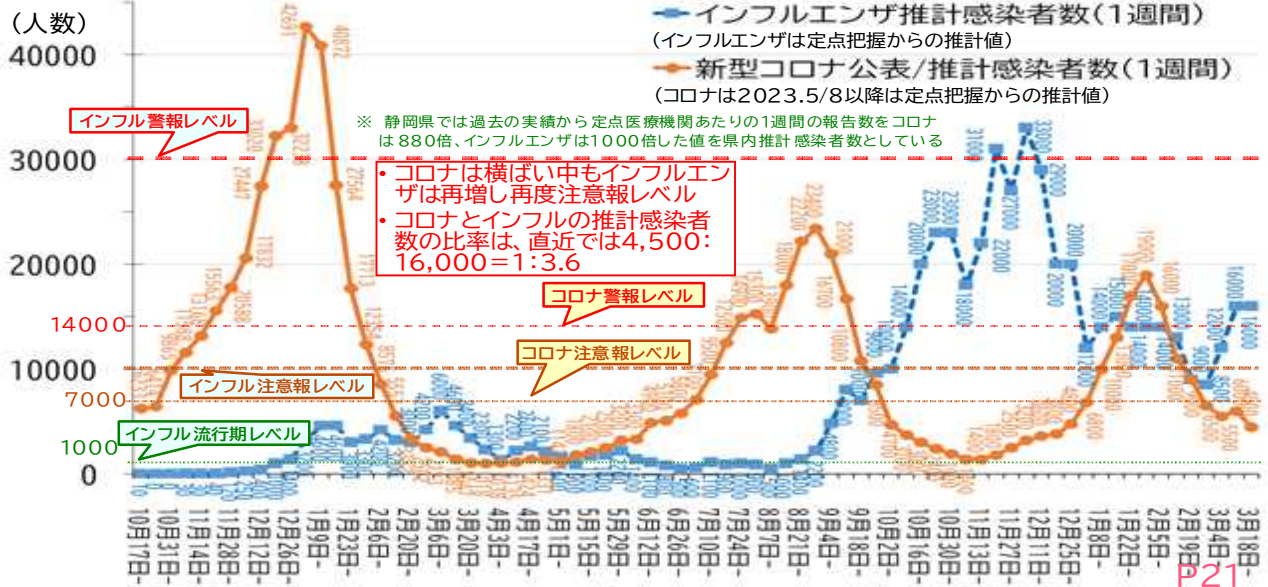


薬剤耐性緑膿菌感染症

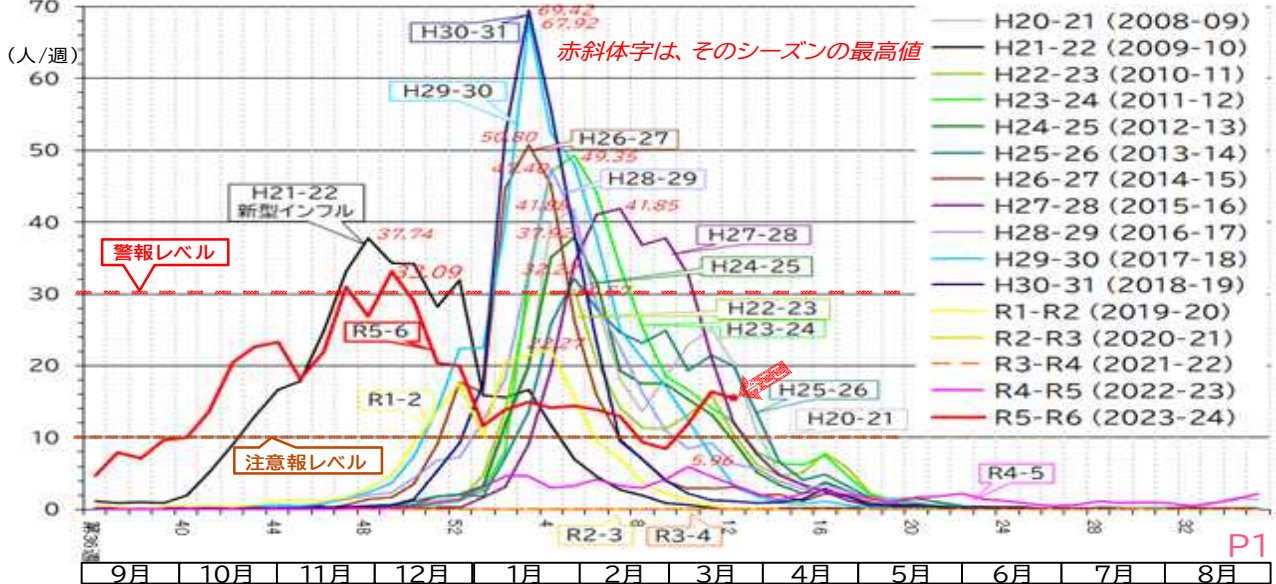


定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

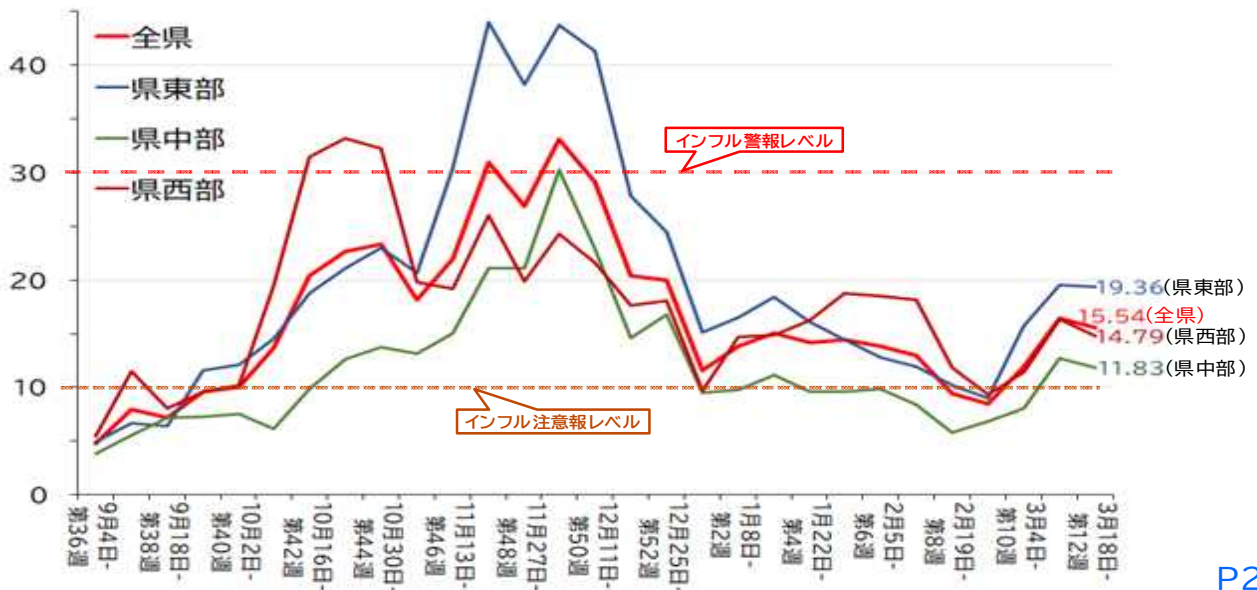
静岡県 新型コロナとインフルエンザの流行の状況 (2022.10/24~2024.3/24)



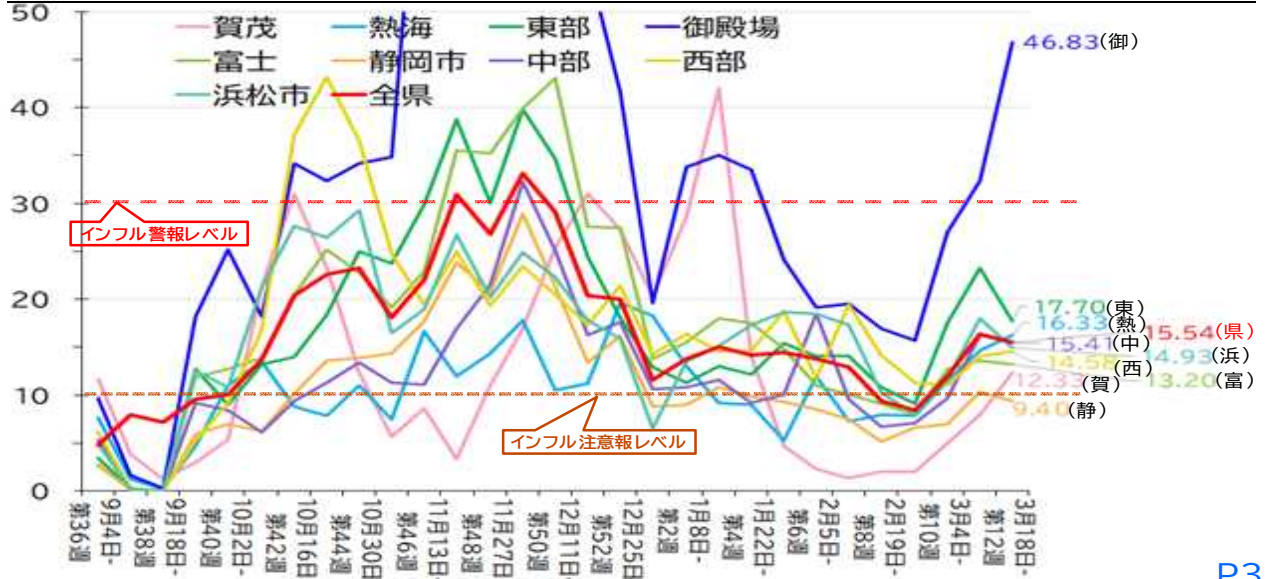
静岡県 定点医療機関インフルエンザ患者報告 過去16シーズンの比較



静岡県 東中西部地域別 定点医療機関あたりインフルエンザ患者数 今季(3/24このグラフ終了)

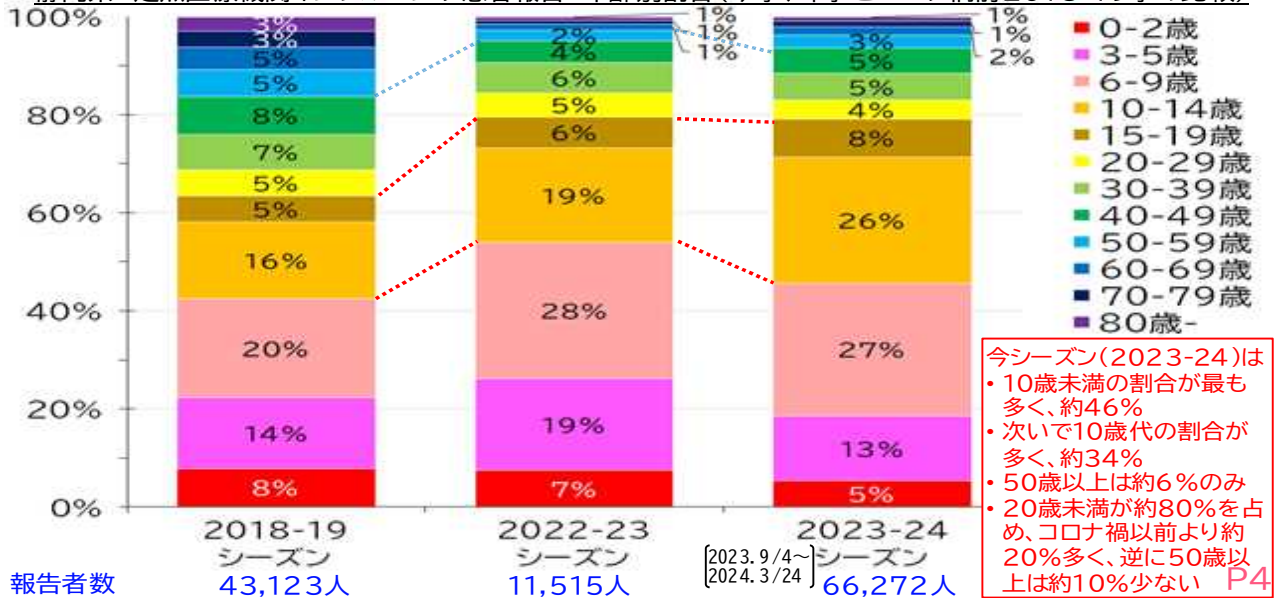


静岡県 保健所管内別 定点医療機関あたりインフルエンザ患者数 今季(3/24このグラフ終了)

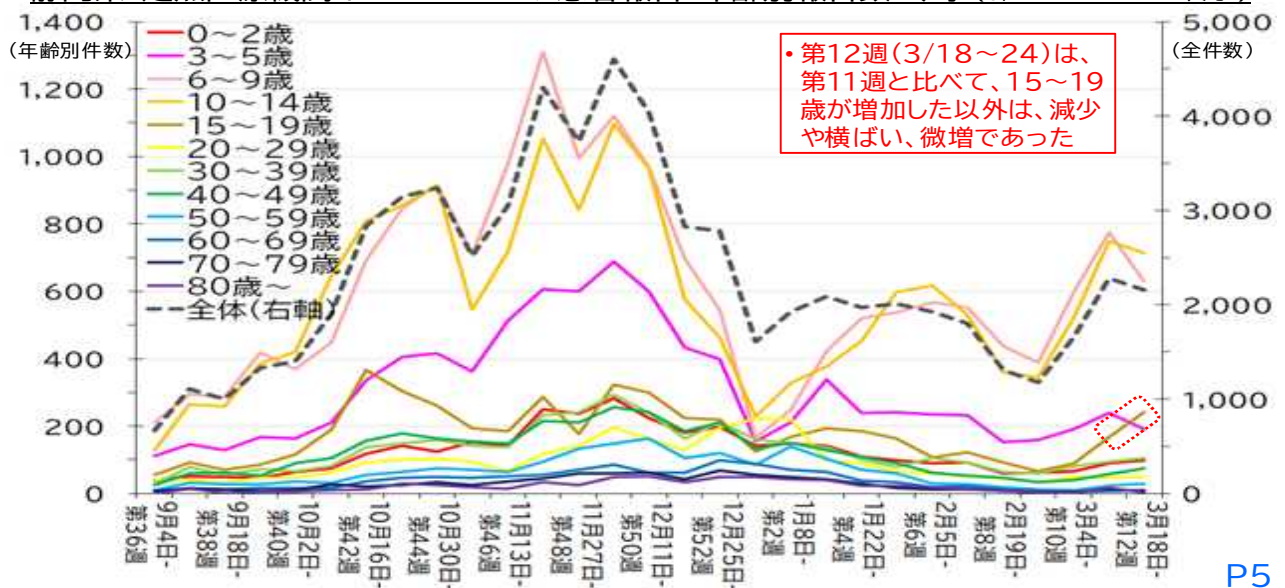


P3

静岡県 定点医療機関インフルエンザ患者報告 年齢別割合(今季、昨季とコロナ禍前2018-19季の比較)

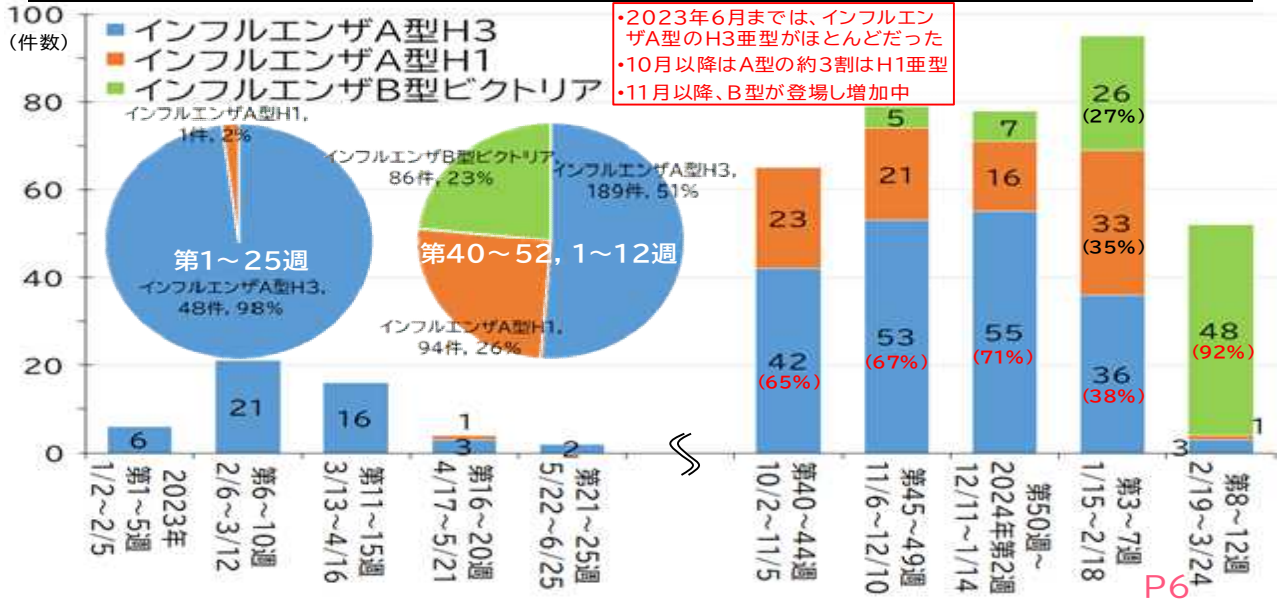


静岡県 定点医療機関インフルエンザ患者報告 年齢別報告数 今季(3/24このグラフ終了)



P5

静岡県内衛生研究所(県、静岡市、浜松市) インフルエンザウイルス型別検出状況 (2023.1/2~2024.3/24)



<インフルエンザ拡大防止のために県民の皆様へ>

ワクチンの接種について

- ・ インフルエンザによって高齢者や基礎疾患のある方は、重症化することがあり、乳幼児ではまれにインフルエンザ脳症を起こすことがあります。ワクチン接種により、死亡や入院の危険が減少するとされています。
- ・ 今シーズンのインフルエンザワクチンの供給量は、昨シーズンの使用量を超える供給量となります。
- ・ **65歳以上等の定期接種対象者で接種を希望する方は、お早めの接種をお願いします。**
- ・ **定期接種対象者以外でも、特に、基礎疾患のある方や、乳幼児、以前インフルエンザにかかってつらかった方は接種の御検討をお願いします。**

(インフルエンザワクチンの接種によって、インフルエンザの重症化を予防する効果や発症をある程度抑える効果が期待できる一方、接種時の体調によっては副反応などが生じる場合もありますので、かかりつけ医などと相談しつつ、接種を検討いただくようお願いいたします。)

- ・ なお、インフルエンザワクチンと新型コロナワクチンは同時に接種できます。

「うつらない」・「うつさない」ための取組の徹底

- ・ 体調が悪い場合は、人が集まるイベントに参加することは控えましょう。
- ・ 人混みでは、**咳エチケット**（咳やくしゃみが出るときは、マスクを着用するか、ティッシュや腕の内側などで口と鼻を覆い顔を他の人に向けない）を励行しましょう
- ・ インフルエンザと診断されたら医師の指示を守って服薬し、外出を控えるとともに、家庭内でも咳エチケットを徹底し、十分な休養をとりましょう
- ・ 人が集まる室内では、十分に換気をしましょう
- ・ こまめに手洗いをしましょう
- ・ なるべく密を避けましょう
- ・ 十分な栄養と睡眠をとり、健康管理につとめましょう

新型コロナウイルス感染症について

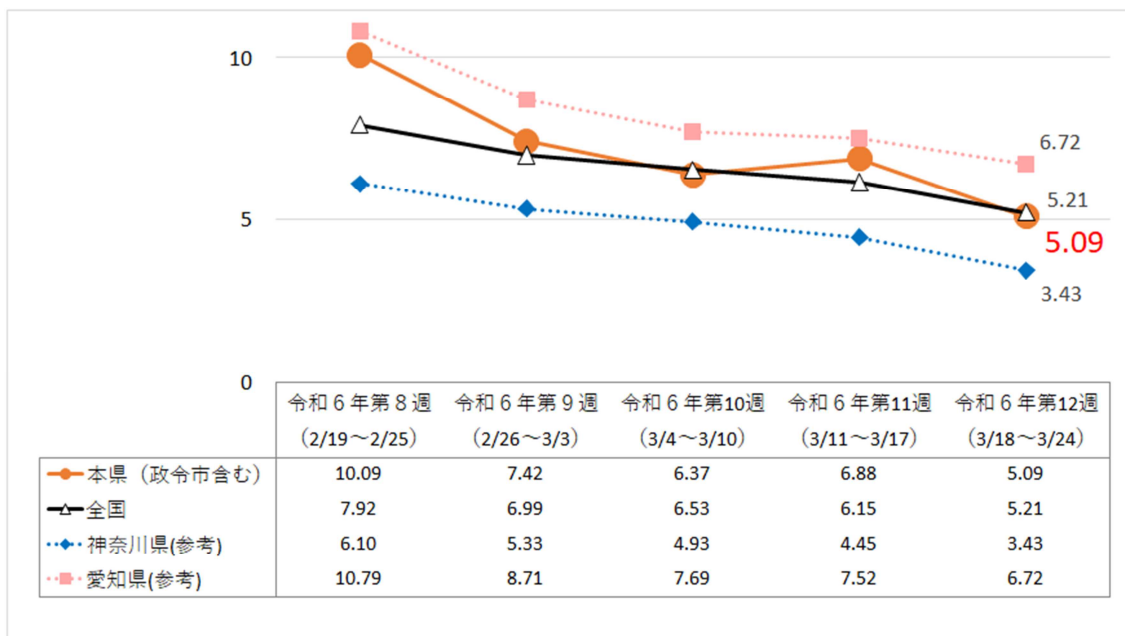
令和6年第12週（令和6年3月18日～3月24日）

令和6年4月から新型コロナウイルス感染症が通常の医療提供体制での対応になることに伴い、新型コロナウイルス感染症の患者数等の個別の公表は第12週をもって終了し、第13週以降は他の感染症と同様に感染症週報での公表となります。

★令和6年第12週の感染状況について

- ・ 県全体の定点医療機関当たり患者数は **5.09 人/週** で、前週(6.88 人/週)に比べて減少しています。
- ・ この1週間の定点医療機関から報告された患者数は708人で、前週(957人)に比べて0.74倍です。
- ・ この1週間の全感染者数は、約4,500人(1日平均約600人)と推計されます。
- ・ 熱海保健所管内が感染拡大注意報レベルです。

1 定点医療機関当たり患者数（単位：人/週）



全国及び隣接する神奈川県、愛知県も表示します。

2 定点医療機関当たり患者数【保健所別】＜令和6年第12週＞

保健所ごとに定点医療機関1か所当たりの人口や年齢構成などが異なるため、保健所間で数値の単純比較はできません。

保健所名	各保健所の管轄市町名	定点医療機関数 (A)	定点医療機関の患者数 (B)	定点医療機関当たりの患者数 (B/A)	県独自の注意報レベル※	県独自の警報レベル※
県東部地域	賀茂	3	17	5.67	13以上	26以上
	熱海	6	56	9.33	9以上	18以上
	東部	20	86	4.30	8以上	16以上
	御殿場	6	85	14.17	17以上	34以上
	富士	15	126	8.40	11以上	22以上
県東部地域		50	370	7.40	10以上	20以上
県中部地域	静岡市	25	99	3.96	6以上	12以上
	中部	17	61	3.59	8以上	16以上
	県中部地域	42	160	3.81	7以上	14以上
県西部地域	西部	19	92	4.84	10以上	20以上
	浜松市	28	86	3.07	7以上	14以上
	県西部地域	47	178	3.79	8以上	16以上
県全体		139	708	5.09	8以上	16以上

※県独自の注意報レベル：令和4年10月以降の第8波の新規感染者数の推移から、1週間当たりの新規感染者数が人口10万人当たり200人以上となった水準を、暫定的に県独自の注意報レベルとして設定しています。（例えば、賀茂保健所の定点医療機関当たり患者数は13以上で注意報レベルということになります）

※県独自の警報レベル：1週間当たりの新規感染者数が人口10万人当たり400人以上となった水準を、暫定的に県独自の警報レベルとして設定しています。

3 定点医療機関当たり患者数【保健所別】＜5週間の推移＞

保健所名	令和6年第8週 (2/19~2/25)	令和6年第9週 (2/26~3/3)	令和6年第10週 (3/4~3/10)	令和6年第11週 (3/11~3/17)	令和6年第12週 (3/18~3/24)	前週比推移	
県東部地域	賀茂	8.00	11.67	6.33	7.67	5.67	↗ ↘ ↗ ↘
	熱海	13.17	7.50	9.17	10.17	9.33	↘ ↗ ↗ ↘
	東部	8.80	5.95	4.80	5.20	4.30	↘ ↘ ↗ ↘
	御殿場	31.00	23.00	20.00	19.83	14.17	↘ ↘ ↘ ↘
	富士	11.87	8.00	8.13	8.20	8.40	↘ ↗ ↗ ↗
県東部地域	12.86	9.14	8.24	8.60	7.40	↘ ↘ ↗ ↘	
県中部地域	静岡市	6.16	4.84	4.20	5.28	3.96	↘ ↘ ↗ ↘
	中部	11.35	8.53	7.88	7.65	3.59	↘ ↘ ↘ ↘
	県中部地域	8.26	6.33	5.69	6.24	3.81	↘ ↘ ↗ ↘
県西部地域	西部	10.32	7.79	6.21	7.32	4.84	↘ ↘ ↗ ↘
	浜松市	7.71	5.75	4.14	4.50	3.07	↘ ↘ ↗ ↘
	県西部地域	8.77	6.57	4.98	5.64	3.79	↘ ↘ ↗ ↘
県全体	10.09	7.42	6.37	6.88	5.09	↘ ↘ ↗ ↘	

4 感染拡大注意報・警報

注意報レベル：感染者が急増するおそれがある状況

警報レベル：感染者の増加が続き、医療のひっ迫のおそれがある状況

(1) 県全体の状況

県全体	
8	16
5.09	
—	

【凡例】

保健所名	
保健所管轄市町名	
注意報の 基準値	警報の 基準値
定点当たり患者数	
現在の状況	

(2) 地域別の状況

県東部地域		県中部地域		県西部地域	
10	20	7	14	8	16
7.40		3.81		3.79	
—		—		—	

(3) 保健所別の状況

賀茂保健所	熱海保健所	東部保健所	御殿場保健所	富士保健所
下田市, 東伊豆町, 河津町, 南伊豆町, 松崎町, 西伊豆町	熱海市, 伊東市	沼津市, 三島市, 裾野市, 伊豆市, 伊豆の国市, 函南町, 清水町, 長泉町	御殿場市, 小山町	富士市, 富士宮市
13	9	8	17	11
26	18	16	34	22
5.67	9.33	4.30	14.17	8.40
—	注意報	—	—	—

静岡市保健所	中部保健所	西部保健所	浜松市保健所
静岡市	島田市, 焼津市, 藤枝市, 牧之原市, 吉田町, 川根本町	磐田市, 掛川市, 袋井市, 御前崎市, 菊川市, 湖西市, 森町	浜松市
6	8	10	7
12	16	20	14
3.96	3.59	4.84	3.07
—	—	—	—

<県民の皆様へ>

手洗い、換気、咳エチケット等、基本的な感染対策の実施に引き続き御協力をお願いします。

5 感染者全数の推計値

保健所名		定点医療機関の患者数 (A)	管内の定点割合 (B)※1	管内の感染者全数の推計値 (A/B) ※2	
	賀茂	17	0.335	-	
	熱海	56	0.268	-	
	東部	86	0.150	-	
	御殿場	85	0.505	-	
	富士	126	0.215	-	
	県東部地域	370	0.221	1674	
		静岡市	99	0.109	-
		中部	61	0.154	-
		県中部地域	160	0.125	1280
		西部	92	0.166	-
		浜松市	86	0.117	-
		県西部地域	178	0.134	1328
	県全体	708	0.158	4481	

※1 定点割合

令和4年10月3日から令和5年5月7日までに定点医療機関から報告のあった患者数を、この期間の全感染者数で割った値。例えば県全体では、この期間の定点医療機関からの報告数は、全感染者数の15.8% (0.158) でした。

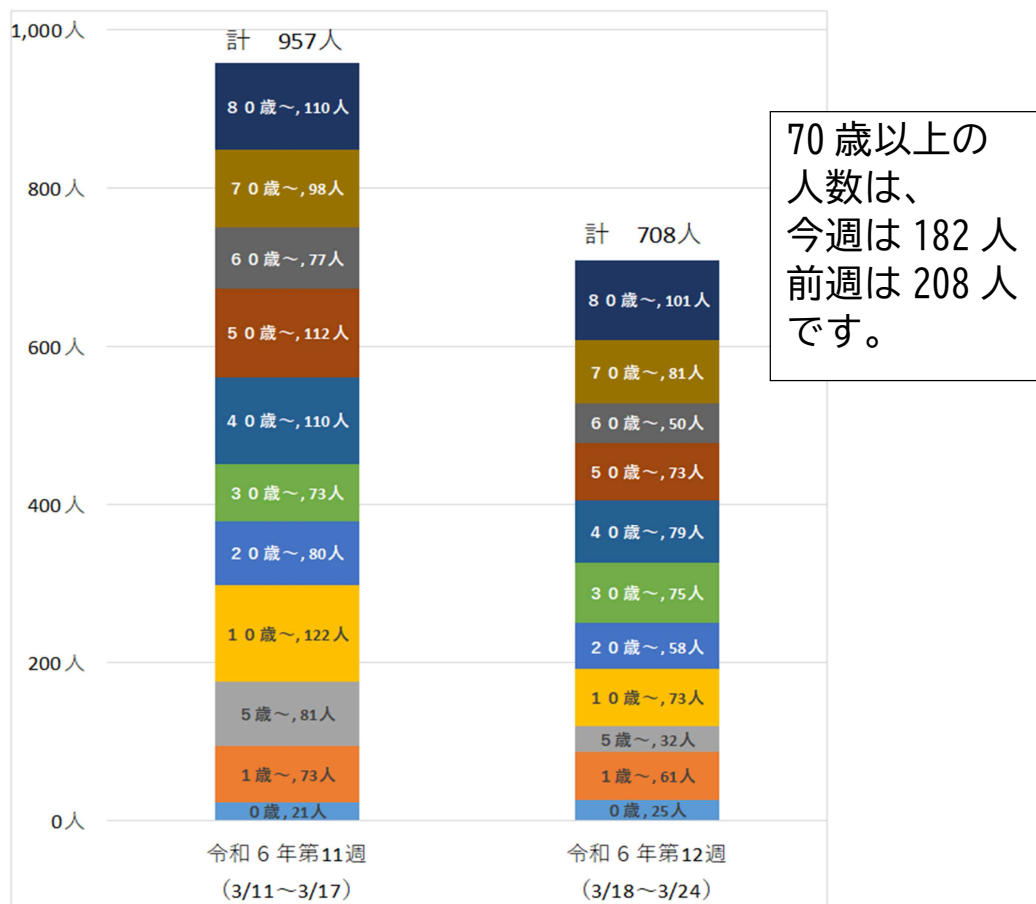
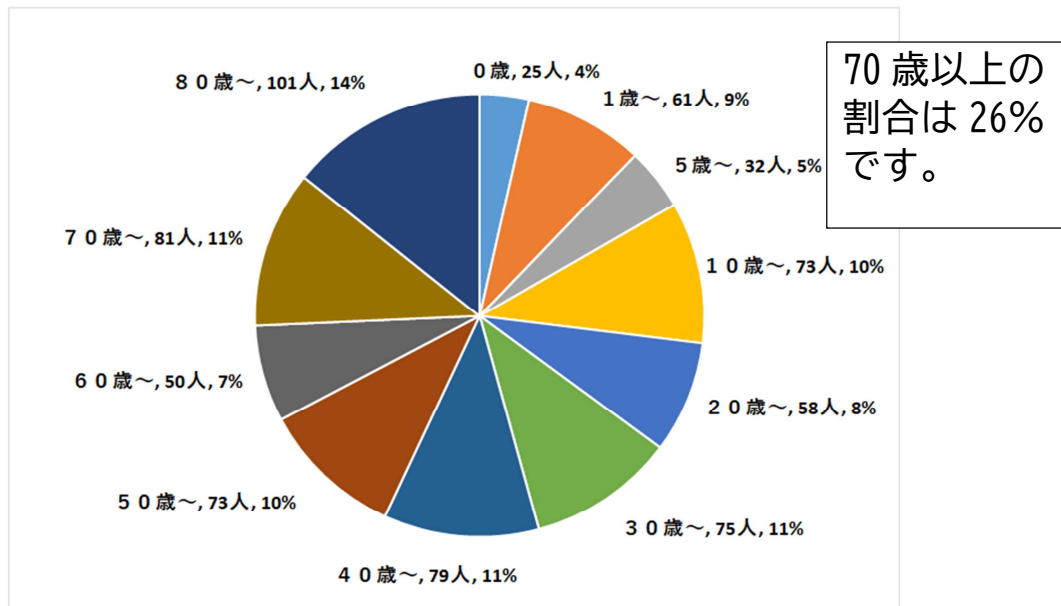
※2 推計値の算出方法

感染者全数の推計値は、定点医療機関の患者数を定点割合で除して算出しており (A÷B)、県全体の感染者数の全数は、 $708 \div 0.158 = 4,481$ 人と推計されます。各地域ごとに異なる定点割合で推計値を算出しているため、県東部地域、県中部地域、県西部地域の推計値の総和は必ずしも県全体の推計値と同じ値にはなりません。なお、人口が少ない地域は定点医療機関が少なく、算出される推計値は統計的に信頼性が低くなるため、各保健所ごとの推計値は示していません。

6 定点医療機関の年齢階級別患者数

0歳	1歳～	5歳～	10歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～
25人	61人	32人	73人	58人	75人	79人	73人

60歳～	70歳～	80歳～	不明	合計
50人	81人	101人	0人	708人



7 令和5年9月20日以降（令和5年秋開始接種） 3～7回目接種の実績

集計期間	全年代				65歳以上			
	静岡県			(参考)全国	静岡県			(参考)全国
	接種者数	接種者数累計	接種率	接種率	接種者数	接種者数累計	接種率	接種率
令和6年第8週 (2/19～2/25)	3,711	809,453	22.28%	22.10%	2,042	554,749	50.30%	52.73%
令和6年第9週 (2/26～3/3)	4,835	814,288	22.41%	22.23%	2,503	557,252	50.52%	52.96%
令和6年第10週 (3/4～3/10)	3,940	818,228	22.52%	22.34%	2,089	559,341	50.71%	53.16%
令和6年第11週 (3/11～3/17)	3,540	821,768	22.61%	22.45%	1,686	561,027	50.87%	53.34%
令和6年第12週 (3/18～3/24)	3,623	825,391	22.71%	22.56%	1,887	562,914	51.04%	53.51%

令和5年秋開始接種の概要

○接種時期 令和5年9月20日から令和6年3月31日まで

○接種対象者 2回以上の接種を完了した者

- ・高齢者(65歳以上)及び基礎疾患のある者（接種の努力義務あり）
- ・上記以外の者であって生後6か月以上のもの（接種の努力義務なし）

○使用ワクチン 以下のいずれかを1回のみ接種可

- ・オミクロン株XBB.1.5対応1価ワクチン（ファイザー社、モデルナ社及び第一三共社） 前回接種から3か月以上経過

以下の変異株に関する項目は、令和5年12月25日（月）分から、1か月ごとに集計しています。
（本日は、2月26日（月）～3月24日（日）分の集計）

8-1 変異株ゲノム解析結果について（政令市除く）

2月上旬～3月上旬に発症した方について、国立遺伝学研究所（三島市）において実施したゲノム解析の結果は、以下のとおりです。（県所管分）

（結果判明日：2月28日（水）、3月5日（火）、3月13日（水）、3月18日（月））

<変異株の件数>

保健所	賀茂	熱海	東部	御殿場	富士	中部	西部	合計
デルタ株	0	0	0	0	0	0	0	0
オミクロン株	0	0	10	1	0	0	29	40
	(内BA.2)	(0)	(0)	(9)	(1)	(0)	(19)	(29)
	(内BA.5)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(内組換体)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(10)	(11)

8-2 本県の変異株の判明状況（3月24日時点）

		合計	県	静岡市	浜松市
合計 (デルタ株+オミクロン株)	判明者数	10,781	6,149	2,382	2,250
	(前回からの増加数)	(63)	(40)	(11)	(12)
デルタ株 (R3.5.16~)	判明者数	2,411	1,256	648	507
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
オミクロン株 (R4.1.1~)	判明者数	8,370	4,893	1,734	1,743
	(前回からの増加数)	(63)	(40)	(11)	(12)
※オミクロン株 【内、BA.2】	判明者数	1,575	776	450	349
	(前回からの増加数)	(50)	(29)	(10)	(11)
※オミクロン株 【内、BA.5】	判明者数	3,515	2,399	831	285
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
※オミクロン株 【内、組換体】	判明者数	806	477	103	226
	(前回からの増加数)	(13)	(11)	(1)	(1)

※県：国立遺伝学研究所および国立感染症研究所でゲノム解析を実施

静岡市：国立感染症研究所でゲノム解析を実施

浜松市：浜松市保健環境研究所でゲノム解析を実施

8-3 本県の変異株（オミクロン株）の判明状況（3月24日時点）

	オミクロン株判明数				全オミクロン株に占める割合		
	合計	内、BA.2	内、BA.5	内、組換体	BA.2	BA.5	組換体
10月30日（月）～ 11月12日（日）	3	0	0	3	0.0%	0.0%	100.0%
11月13日（月）～ 11月26日（日）	10	0	0	10	0.0%	0.0%	100.0%
11月27日（月）～ 12月10日（日）	7	0	0	7	0.0%	0.0%	100.0%
12月11日（月）～ 12月24日（日）	13	3	0	10	23.1%	0.0%	76.9%
12月25日（月）～ 1月28日（日）	75	43	0	32	57.3%	0.0%	42.7%
1月29日（月）～ 2月25日（日）	80	49	0	31	61.3%	0.0%	38.8%
2月26日（月）～ 3月24日（日）	63	50	0	13	79.4%	0.0%	20.6%

8-4 ゲノム解析結果の系統別判明数（政令市含む） （2月26日～3月24日判明分）

系統名※	判明数	割合
BA. 2. 75	0	0. 0%
BS. 1	0	0. 0%
BA. 4. 6	0	0. 0%
BQ. 1	0	0. 0%
XBB	11	17. 5%
BA. 2. 86	48 *	76. 2%
その他	4	6. 3%
計	63	100. 0%

*このうち、30株がJN.1系統でした。

※国立感染症研究所「感染・伝播性の増加や抗原性の変化が懸念される新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の変異株について（第22報）」及び「新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の変異株 BA. 2. 86 系統について 第2報」において、「ウイルス学的、疫学的、臨床的知見、国内外での発生状況の監視を継続する必要がある」とされている系統を掲載しています。

令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症は感染症法上の位置付けが「5類感染症」となりました。

このため、感染状況の把握は、全数を毎日把握する方式ではなく、国が定める基準に従って指定された医療機関（定点医療機関）での患者数を1週間分まとめて把握する方式に変更されています。（季節性インフルエンザと同様の把握方法）